

平成27年度 第3期和泉市男女共同参画行動計画(オアシスプラン)施策及び実績報告

基本目標Ⅰ 男女平等の意識を育む施策の方向 施策の方向 1 学校・園における男女平等教育の推進

施策① 男女平等教育の推進

No	事業
1	各幼稚園・学校や保育所で、男女平等教育推進計画並びに保育計画を策定し、園や学校、保育活動での取組、教職員等の研修、保護者への働きかけ等を積極的に推進し、教育・保育環境を整備します。 ◆保育計画に基づく人権の視点からの男女平等教育の実践と共有 ◆人権教育推進計画に基づく教育活動の取組とその評価・公表 ◆ユニバーサル・デザインに基づく学校施設の整備・改善

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映しただけで取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
・色を選ぶ時は、全ての色の中から子どもたちが好きな色を選び、選んだ色を尊重し、男の子の色、女の子の色と決めけない感覚を育てる。 ・色に限らず、おもちゃや遊びについても、男の子、女の子による分け方はないことを子どもたちが自然に感じながら育つよう、保育士や教師などがその場に応じた言葉がけをおこなう。 ・劇遊びの配役では、どの役についても男の役、女の役と決めず、子どもたちが、なりたい役を選び、劇遊びなどを楽しむ。 ・卒園式では、男女を分けない50音順に並ぶ。 ・「男は泣いたらあかん」等の発言がある場合は、子どもたちと一緒に考える場をもち、子どもたち自身が男女平等ということに気づけるようにする。	1	3	1	1	1	長年、日常の保育・教育の場面で取り組みを継続している。	2	こども未来室
各小・中学校で男女平等教育推進計画を含む人権教育推進計画を策定し、それに基づいた教育活動を推進した。	1	3	3	1	1	男女平等教育を推進するため、引き続き人権教育推進計画を策定するとともに、実績報告の内容をさらに分析し、今後の課題を焦点化する。	2	教育委員会指導室
平成27年度の施設改修において、配慮すべき箇所が無いか検討を行った。(学校施設の擁壁改修工事や体育館非構造部材改修工事等の実施した改修工事では、特段、必要とする項目が無かったため、具体的実施はなかった。)	4	3	1	2	2	平成27年度は、配慮を行うべき箇所の改修は無かったが、今後施設改修におけるチェック項目として認識の継続が必要とされる。	2	教育委員会教育総務室

No	事業
2	「男女平等教育推進モデル校(園)」においては、当事者である子どもと教職員への振り返り調査を実施し、男女平等教育モデル校(園)での成果を1年ごとにまとめ、公表するとともに、次年度の取組に活かします。 ◆モデル校(園)の実践報告会の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映しただけで取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
推進モデル校園(幸幼稚園、横山小学校、南横山小学校、榎尾中学校)が取組みをまとめた冊子を作成し、小中学校に配付した。	1	2	1	1	1	男女平等教育の取組みを授業参観に位置づけていた学校もあり、保護者の理解も深まった。	2	教育委員会指導室

No	事業
3	<p>教職員や保護者等が、デートDVや性犯罪(児童ポルノや児童虐待等)等についての認識を深めることができるよう情報提供します。</p> <p>◆教職員、保護者、子どもなど対象者に応じて選択し、大阪府から提供のポスター、パンフレット、データを提供</p> <p>◆男女共同参画社会づくり講座の実施</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持	4.進まなかった	(1)	(2)			
大阪府府民文化部男女参画・府民協働課政策のリーフレット「知っていますか？デートDV」を各中学校に配付し、教職員や保護者への周知を依頼した。	1	3	1	1	1			府からの資料を配付するだけでなく、府の研修で学んだことを伝達するなど、積極的に情報提供する。	2	教育委員会指導室
<p>・27年度はDVの講座として、大声を出す、脅迫する、行動を厳しく制限するなどの精神的な暴力はモラル・ハラスメントとよばれており、最近では、社会問題として取り上げられることが増えつつある。</p> <p>モラル・ハラスメントは受けている本人やまわりの人も気づきにくいものだが、とても相手のこころを傷つける行為である。フェミニストカウンセラーとして豊富な経験を持つ講師に、自分自身や家族や友人がその暴力に気づき、乗り越えるために何が出来るかを学び、考える機会とするため講演会を実施した。</p> <p>タイトル: カウンセラーが語るモラル・ハラスメント～暴力を見過ごさないために～ (参加人数24人/30人定員)</p> <p>・デートDVを盛り込んだ男女共同参画啓発冊子を作成し、広報いずみ4月号とともに全戸配布した。</p>	1	1	1	1	1			来年度は内閣府助成金事業に申請し、DV講演会を実施していきたい。	2	人権・男女参画室

No	事業
4	<p>教職員や保護者等が、性的マイノリティ等についての認識を深めることができるよう情報提供します。</p> <p>◆学校に向けて文部科学省等からの啓発物等を提供</p> <p>◆男女共同参画センターの図書コーナー等での啓発</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持	4.進まなかった	(1)	(2)			
<p>・文部科学省からの「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」等の通達について学校に情報提供を行った。</p> <p>・小中学校の担当者対象の研修を行い、LGBTについての理解を深めた。</p>	1	1	1	1	1			LGBTについての研修を行ったことで、配慮の必要性等についての理解が深まった。	2	教育委員会指導室
<p>モアいずみ通信10月号で「セクシャル・マイノリティ(LGBT)」について説明記事を掲載し、啓発した。</p> <p>また、DVD「あなたがあなたらしく生きるために 性的マイノリティと人権」を貸出した。</p>	2	2	1	1	1			性的マイノリティに対する知識を持ってもらうために、機関誌で取り上げた。今年度は図書コーナーの書籍も性的マイノリティに関するものを購入し、貸出するなど一層の啓発を図りたい。	2	人権・男女参画室

No	事業
5	<p>自らの身体と相手方の身体について正しい理解を深め、性に関する適切な態度や行動の選択ができるよう、発達段階に応じた性教育に取り組みます。</p> <p>◆保健体育や総合的な時間を利用して性教育を実施</p> <p>◆小中生活指導協議会でのアンケートの実施</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
<p>学習指導要領に基づき、小中9年間を見通した性教育に取り組んだ。</p> <p>○小学校1・2年…生命を大切にすることを(道徳)</p> <p>○小学校3・4年…体の発育・発達についての理解(保健)</p> <p>○小学校5・6年…思春期の体の変化や心の発達、不安や悩みへの対処についての理解、男女で助け合うこと(保健・道徳)</p> <p>○中学校…生殖機能の成熟、性情報への対処、異性についての正しい理解や人格の尊重(保健・道徳・特活)</p>	1	3	1	1	1	LGBTにも配慮しながら、取組みを進めていく。	2	教育委員会指導室
<p>和泉市小中生活指導研究協議会事務局で、小学4年生から中学3年生を対象に、性に関する事項を含めた「自分の安全」のアンケートを作成し、全小中学校で実施(9～10月)した。集計結果は学校校務システム内の共有フォルダに保存され、各学校の教員が見られるようになっており、学校通信や生徒指導、長期休業前の保護者等への「休みの過ごし方」啓発文書等で、各校での活用を指示した。</p>	1	3	3	1	1	アンケート結果を分析し、成果や課題を焦点化する。	2	教育委員会指導室

No	事業
6	<p>市民活動等と連携し、子どもたちが暴力の被害者にも加害者にもなることを防ぐための情報や学習機会の提供を定期的に行います。</p> <p>◆教職員対象に人が本来持っている生きる力を湧き出させる研修の実施</p> <p>◆子ども対象の「犯罪防止教室」の実施</p> <p>◆「被害者救済システム」の周知</p> <p>◆保育所・幼稚園における「不審者侵入対処訓練」の実施</p> <p>◆保育所・幼稚園における「こどもたちに伝える5つの約束」の徹底</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
<p>子どもが外出した際に自分の身を守る方法や、携帯電話・スマートフォン等によってトラブルに巻き込まれないようにするための方法について、各学校で子どもたちに確認するように指示した。</p>	1	3	1	1	1	ワークショップ等の手法について、新しい情報を提供していく。	2	教育委員会指導室
<p>全小中学校で、警察や薬剤師会等と連携して「犯罪防止教室」「非行防止教室」「薬物乱用防止教室」等を実施した。</p> <p>小学校では、警察と連携して「非行防止教室」を小5対象に全小学校で実施した。</p> <p>中学校では、警察や少年サポートセンターと連携して「犯罪防止教室」が「非行防止教室」を全中学校で実施した。</p> <p>「薬物乱用防止教室」については、薬剤師会等と連携して全小中学校で実施した。</p>	1	3	3	2	2	今後も全小・中学校で取り組んでいく。	3	教育委員会指導室

校長会や研修の場で、「被害者救済システム」について周知した。学校でのポスター掲示や担任からの連絡を通じて子どもへの周知を行った。	1	2	1	1	1	今後も周知を徹底していく。	2	教育委員会指導室
年間計画のとおり、各園にて、いろいろな場面を想定した不審者侵入対処訓練を実施した。 園外保育時、日常の時間帯、午睡後、土曜日の午後など、いつ起こるかかわからない不審者侵入を想定して訓練を実施した。 送迎時には、その場にいる保護者に一緒に参加していただいたり、公園では、まわりにいる人に訓練であることの声かけをして実施し、訓練の様子を知っていただいたりする。	2	3	1	2	1	・園外での訓練時に、不審者に遭遇した場合、笛を吹き合図をすることになっているが実際には周辺を驚かせることになるので、躊躇して取り組んでいないケースもみられた。副園長会議で話し合い、今後は周辺へ伝える方法を考え、不審者対処訓練の強化を図る。	2	こども未来室
・こども未来室で保管し貸し出していた「5つの約束」のDVDを平成26年度末に保育園10園に配布。 2歳児以上の年齢で、視聴する。 ・不審者対処訓練の一つとして、職員による人間劇を実施し、知らない人にはついていけないという内容を子どもたちにわかりやすく伝える。また、その日の子どもたちの様子を保護者に伝え、保護者にも子どもたちを暴力から守ることを考えていただく機会になるようにする。 ・「5つの約束」の看板を各園のフェンスに取り付けて、保護者に周知している。	2	3	1	1	1	引き続き取り組みたい。	2	こども未来室

施策② 一人ひとりの自立・職業意識を育む教育の推進

No	事業
7	キャリア教育をする上で重要な取組という観点に立って職場体験学習を実施するために、教職員に対してキャリア教育に関する情報や学習機会を提供します。 ◆キャリア教育担当者の研修の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
市キャリア教育担当者研修(12月15日) ・キャリア教育全体指導計画の活用について、キャリア教育の年度末反省及び来年度に向けて ・参加者…13名(各中学校区から1名以上) 泉北3市1町キャリア教育担当者研修(2月4日) ・講師より「キャリア教育における見取りと点検」をテーマに講義、中学校区の担当者ごとの交流 ・参加者…和泉市からは26名	1	2	1	1	1	今後も、キャリア教育の指導計画に男女共同参画の視点があるかを確認しながら改善していく。	2	教育委員会指導室

No	事業
8	<p>子どもの発達段階に応じて、性別に捉われることなく自らの生き方を考え、自分の意志と責任で進路を選択・決定する能力・態度を身につけることができるよう、キャリア教育の指導計画を作成し、それに基づいた進路指導を行います。</p> <p>◆中学校区における「キャリア教育全体指導計画」の策定 ◆中学校への職場体験学習実施のための情報提供</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
中学校区単位で策定した「キャリア教育年間指導計画」に基づいた取組みを進め、成果と課題を踏まえて計画の見直し・改善を行った。	1	2	3	2	2	全体指導計画を見直す中で、男女共同参画の視点があるかを確認する。	2	教育委員会指導室
校長会や進路担当者会議において、職場体験学習に向けての指導や進路指導について、情報提供及び指示をした。具体的には、市役所内での職場体験について、各中学校の体験実施希望時期や人数を集約し、庁内各課に依頼し行った。また、大型商業施設(ららぽーと、コストコ)についても、各中学校の体験希望を集約し、商工労働室と連携のもと、様々な事業所に体験を依頼することができた。	1	3	3	1	1	子どもたちが、性別にとらわれることなく自らの生き方を考えることができるよう、職場体験に向けた取組みや進路指導を工夫していく。	2	教育委員会指導室

No	事業
9	<p>特に、女子や障がいのある人について、厳しい就業状況を踏まえ一人ひとりに対応した支援をします。</p> <p>◆支援学校や障がい者施設との連携の充実 ◆日中活動系事業所の情報提供</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
校長会や進路指導担当者会議において、将来の就労のために必要な進路情報を周知し指導を行った。また、児童発達支援ネットワーク会議等、支援学校、関係機関、障がい者施設との連携の充実に努めた。	1	2	1	1	1	支援学校と定期的な連絡会を行い、対象生徒の情報共有と、将来の就労に向けた支援について連携ができた。	2	教育委員会指導室
基幹相談支援センター・委託相談支援センター等において、日中活動系事業所に通所を希望する障がい者に情報提供その他の支援を行いました。また、就労を希望される場合には、就業・生活支援センターを紹介するなど、希望に応じた支援を行いました。 基幹相談支援センターと委託相談支援事業所3か所で相談を受けた人数は合計698人(実人数)であり、うち、福祉サービスの利用等に関する支援が4,853件(延べ)、同行支援が55件(延べ)となっています。	2	3	3	1	1	引き続き、障がいのある方が通所等を希望される場合には、適切に支援をする。	2	障がい福祉課

No	事業								
10	市役所においてインターンシップを受け入れます。								
		【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。			【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。				
実施状況(事業報告)		今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会との連携により、桃山学院大学の学生2名を下記のとおりインターンシップとして受け入れた。 総務管財室・・・平成27年8月10日～21日(男性1名) 読書振興課・・・平成27年8月17日～29日(女性1名)		2	3	1	1	1	事業予定のとおり堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会との連携により2名のインターンシップの受け入れを行い、施策の推進に寄与した。	2	人事課
実習期間: H28年8月1日～8月14日 実習場所: モアいずみ(和泉市男女共同参画センター) 男子学生: 1人 実習内容: わくわくシネマの司会や講座の準備等の業務に携わる。		1	3	3	2	2	今後も生涯学習センターからの要望があれば、引き続き取り組む。	2	人権・男女参画室
和泉シティプラザ内において、指定管理先である公共施設管理公社が桃山学院大学生のインターンシップの受け入れを行い、平成27年度は女性2名、男性1名の受け入れを行った。女性1名は生涯学習センターにて窓口業務、もう一人の女性は保険福祉センターで事務補助、男性1名は、男女共同参画センター(モアいずみ)にてイベントや事務補助の業務を行ってもらった。		2	3	2	2	2	今後も引き続き、公共施設管理公社と連携し、事業を行う。	2	生涯学習課

施策③ 教職員・保育士等の男女平等意識の向上

No	事業								
11	教職員や保育士等が固定的な性別役割分担意識に捉われず、男女平等の意識を持って子どもたちを指導できるよう、研修の充実を図ります。 ◆校内推進体制確立のための校長会での意識づけ ◆乳幼児人権教育研究会による研修の実施								
		【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。			【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。				
実施状況(事業報告)		今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
全小中学校において、主に職員会議等の中で、男女平等教育についての研修(校外での研修の伝達、資料の周知を含む)を行った。		1	2	3	1	1	各校で行っている研修の内容を把握し、指導・助言していく。	2	教育委員会指導室
乳幼児人権教育研究会による研修を年間4回実施 ・支援教育(北松尾幼稚園の実践) ・保護者支援のポイントを学ぶ…津村薫氏 ・個人情報と保育…渡邊 徹氏 ・人権教育、幼児期から育てたい力…新保 真紀子氏		1	3	2	1	1	男女平等のみの視点ではないが、人権の視点をしっかりともち取り組んだ。	2	こども未来室

No	事業
12	<p>小中学校に男女平等教育・人権教育担当者を置き、男女平等の視点に立った実践事例研修や男女平等教育の研修を推進します。</p> <p>◆各校に男女平等教育の担当教員の配置 ◆男女平等教育実践事例や指導事例集(府)を活用した校内研修</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
各校で、人権教育担当教員とは別に男女平等教育の担当教員(1名以上)を置くように指示した。	1	3	1	1	1	今後も男女平等教育の担当者を置くよう指示する。	2	教育委員会指導室
男女平等教育実践事例(本市)や指導事例集(大阪府)を活用した校内研修(実践の紹介や指導内容の工夫や改善等について)の推進を指示した。	1	2	3	1	1	今後も研修を行うよう指示していく。	2	教育委員会指導室

No	事業
13	<p>セクシュアル・ハラスメント、性犯罪に関する研修並びに今日的な課題に対して研修を実施します。</p> <p>◆各校の管理職・担当職員へのセクシュアル・ハラスメント防止や今日的課題に関する研修の実施</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
管理職及び担当教員を対象として、市教委が主催のセクシュアル・ハラスメント防止研修を実施した。その後、各学校の校内研修の中で、研修資料をもとに管理職及び担当教員から伝達研修を行った。SSWを講師とした研修や警察と連携した連絡会を実施している。今年度の研修対象者は、67人で出席率は94%だった。	1	3	1	1	1	教職員の人事異動があり、これらの研修については継続して実施する。今後の改善点は、教職員数の多い学校については、管理職及び担当教員以外にも研修に参加していただくよう研修対象教職員を広げる。	2	教育委員会指導室

施策④ 家庭での男女平等・男女共同参画の推進

No	事業
14	<p>固定的な性別役割分担意識に捉われない家庭運営や子育てができるよう、保護者を対象に、男女平等や男女共同参画について学べる家庭教育に関する学習機会を提供します。</p> <p>◆モデル校(園)の実践報告会の実施</p> <p>◆保護者に対し、保育所・幼稚園における男女平等・男女共同参画推進のための保育の取組について積極的に情報提供を実施</p> <p>◆男女共同参画社会づくり講座の実施</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
各校でのPTAの中に、人権啓発委員会等を組織し、男女平等や男女共同参画を含めた人権学習(男女が互いを尊重することの大切さ等)に取り組み、家庭・地域社会との連携のもとに人権意識の高揚に努めるよう指示した。	1	2	3	2	2	男女平等教育について授業参観で取り組み、懇談会でもテーマとして取り上げた学校があった。PTA活動における男女共同参画の視点について、もっと踏み込んで指示する。	3	教育委員会指導室
・保育参観、半日保育参加等をおして、園内の環境を見ていただいたり、日頃の取り組んでいる保育全体を知ってもらうことで男女平等、男女共同参画の視点での取り組みを伝えることができた。 ・運動会、発表会等を通して取り組みを伝えることができた。	2	3	1	1	1	今後も継続して取り組む。	2	こども未来室
①子育て応援講座「パパとつくる、ミートローフでクリスマスリース」 12/19(土)午前と午後の2回実施 参加9組×2回・参加人数77人 ②子どもサイエンスキャンパス「パパ、ママと実験はじめよう!～空気でスイスイUFOホバークラフト～」 10/17(土) 参加15組・参加人数35人 ①、②とも親子で参加できるよう土曜日に実施した。	1	3	1	1	1	例年実施している講座で、特に②子どもサイエンスキャンパスについては申込者が多くキャンセル待ちが発生する人気講座であり、今後も実施していきたい。また①子育て応援講座に関しては参加しやすいうように1日に2回実施した。	2	人権・男女参画室

No	事業
15	<p>家庭教育における悩み・問題について、男女平等・男女共同参画の視点を持ちつつ、解決に導く「教育相談」を充実します。</p> <p>◆スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
家庭教育での悩み・問題についての相談に応じ、スクールカウンセラーやS SWの活用、こども未来室や子ども家庭センターと連携して必要な支援を行った。スクールカウンセラーは、13小学校に配置し、中学校は全10校に配置している。小学校での相談件数は、1,210件、相談人数1,532人。中学校での相談人数は3,572人である。スクールソーシャルワーカーは、2名で、要請のあった件について、相談に応じ、支援を行った。	1	2	2	1	1	教育相談の充実さらに、市内小学校配置校を増やしていく。	1	教育委員会指導室

施策の方向(2)地域における男女平等学習の推進

施策⑤ 多様な選択を可能にする学習機会の提供

No	事業
16	地域において男女平等・男女共同参画の考え方が定着するように、研修会、学習会等を企画・実施します。 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施 ◆校区別人権研修会 ◆市民カレッジ(指定管理者が実施) ◆成人教室(琴、茶道、華道) ◆青少年男女共同参画事業 ◆出前講座

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持	4.進まなかった	(1)	(2)			
<p>例年実施しており、男女共同参画社会づくりのために、自分を磨き輝きたい人が色々な人生との出会いを求めて、自ら学び、考え、行動する実践的な内容で実施。27年度は下記の内容で実施した。 (定員30人・申込人数21人・修了者数10人)(延べ参加人数363人)</p> <p>9/10男女共同参画ってなんなん? 9/17コミュニケーション～コミュニケーションを育む力～ 10/1伝統とときたりについて～あたりまえ!?それってホントにあたりまえ?～ 10/8できてる?今日からできる災害への備え/災害時に生きる力 10/15メディア・リテラシー～メディアを読み解く力～ 10/22知って役立つ身近な法律 10/29ワーク・ライフ・バランス～充実ライフ♪どう生きる?～/～充実ライフ♪実践編～ 11/5地域の子育て～子どもを育てる地域力～/新しい輪を広げようpart1 11/12新しい輪を広げようpart1/修了式及び交流会</p> <p>※9回連続の講座数を午前・午後で数えるため18講座となる ※修了証を取得するには、15講座以上の出席が必要</p>	1	3	1	1	1			引き続き男女平等・男女共同参画の考え方が定着するよう企画・実施する。	2	人権・男女参画室
<p>和泉中央丘陵ヒューマンフェスタ(8校区合同人権研修会)で講演会を実施</p> <p>テーマ:「女らしくなく 男らしくなく 自分らしく」 日 時:平成27年11月15日(日)午前10時～ 場 所:和泉シティプラザ レセプションホール 参加者:339人</p>	1	3	3	1	1			引き続き事業の周知を図り、参加者増に努める。	2	人権・男女参画室
<p>平成27年度、前期6講座、後期6講座の計12講座を開催。自然や文化、自然科学など専門的な分野を楽しく、わかりやすく学び、自らの知識を広げる講座を展開した。(前期3,132人、後期3,731人)また、公開講座には森卓郎氏を招へいし、541人の参加があった。</p>	2	3	2	2	2			平成28年度からは、いずみ市民大学としてリニューアル。市長を学長とした大学に再編し、市や市の所管する施設が行う講座等とも連携し事業を進める。	2	生涯学習課
<p>成人教室(琴)(茶道)(華道)を開講。市民の生涯学習の推進に努めた。</p> <p>事 : 女性9人 男性1人 茶道 : 女性15人 男性4人 華道 : 女性21人</p>	2	3	2	2	2			今後も引き続き、事業を行う。	2	生涯学習課
<p>楽しく手軽にでき、性別に関わりなく自身の個性と能力が発揮できるスポーツ(ニュースポーツ)として従来実施していた「ディスコン教室」に加え新しい試みとして、「ピロポロ(室内ホッケー)」を取り入れました。性別・学年の枠を超えてともに協力して競技し男女共同の意識の育成につながりました。 平成27年度は、ディス紺教室1回、金ボール遊び2回、ピロポロ(室内ホッケー)遊び1回を実施し、目標(定員)96人に対し、78人(男38人、女40人)の参加が有りました。</p>	2	2	1	1	1			今年度は、楽しく手軽にでき、性別に関わりなく自身の個性と能力が発揮できるスポーツ(ニュースポーツ)を取り入れたため、参加者に男女共同参画事業について、楽しくアピールできた。	2	青少年センター

<p>年輪大学の2コマを自治基本条例啓発の出前講座として実施した。 1回目：平成27年7月22日 2回目：平成27年7月29日 計73名(1回 定員40名)</p> <p>市内の2小学校に出向き、自治基本条例の啓発のため出前講座として紙芝居を実施した。 1回目：緑ヶ丘小学校 平成27年11月19日 参加者数4クラス 144人 2回目：南横山小学校 平成28年2月17日 参加者数1クラス 15人</p>	2	3	3	2	2	<p>公民協働に向けた情勢づくりに寄与した一方、自治基本条例啓発を主な目的として実施している。対象として男女を問わず自由参加としており、男女共同参画に配慮している。</p>	2	公民協働推進室
--	---	---	---	---	---	--	---	---------

No	事業
17	<p>地域において男女平等・男女共同参画の考え方が定着するように、研修会、学習会等を企画・実施します。</p> <p>◆広報いずみやホームページ等での周知の充実 ◆シティプラザ通信の発行、モアいずみ通信、広報いずみやHPでの周知の充実 ◆市政情報発信事業</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	(1)	(2)	(3)					
<p>親学習講座など、男女関わらず参加してほしいイベントのチラシを各種掲示板やチラシBOXに配置した。</p>	2	3	2	2	2	2	今後も引き続き、事業を行う。	2	生涯学習課	
<p>・モアいずみ通信、広報いずみ、和泉シティプラザ通信、HP、いずみメールでイベントや講座の情報提供を行った。 ・女と男のフォーラムや男女共同参画週間事業についてはコミュニティ誌に掲載を依頼した。 ・講座のチラシ・ポスターを関係施設に配架した。</p>	1	3	1	1	1	1	今後も引き続き、情報提供を行う。	2	人権・男女参画室	
<p>市の施策やイベント・講座などの情報を広報いずみを通じて全戸配布するとともに、ホームページやTwitter・Facebook・いずみメールでも情報発信を行った。</p>	1	3	1	1	1	1	いずみメールの実績値は1,772人で、目標値には届かなかったが、広報いずみや市ホームページ、SNSを活用し広く周知できたと考える。 引き続き、情報発信を行うと同時に、登録目標値に達するよう努める。	2	いずみアピール課	

No	事業
18	<p>生涯を通じた経済的自立の観点からの消費者行政を充実します。</p> <p>◆消費者生活啓発出前講座 ◆消費者月間事業</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	(1)	(2)	(3)					
<p>複雑多様化している消費者問題に対応し、消費者被害の未然防止と自立した消費者の育成を図るため、高齢者向け(5回)、地域向け(3回)、児童・生徒・教員向け(5回)、大学生向け(3回)など出前講座を19回(2,112人)実施した。</p>	2	2	3	1	1	1	参加者は少なかったが就労している障がい者への消費者啓発をすることができた。 今後も高齢者、障がい者向けの分かりやすい消費者情報を提供する出前講座をめざす。	2	福祉総務課	

インターネットの普及に伴い市内全中学校生に「インターネット安全教室」の啓発パンフレットを配布(約6,300部) 市内主要駅(2駅)で消費者団体の協力のもとに消費者月間統一テーマ「みんなでつくろう!消費者が主役の社会」のチラシ配布)及び消費生活センター案内のティッシュを配布(2,000部)した。	2	2	3	1	1	今年度の消費生活相談は約1,300件となり、市民に相談先としての消費生活センターが周知されつつある。 今後も月間事業をはじめ、広報いずみ、市HPなどを活用し、分かりやすい消費者問題の啓発に努める。	2	福祉総務課
--	---	---	---	---	---	---	---	-------

施策⑥ 女性の意思決定の場への参画に向けての人材育成の充実

No	事業
19	女性のチャレンジを支援するための情報提供や各種講座を実施します。 ◆和泉市男女共同参画センターの図書コーナーの充実

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
図書 ・「わたしは13歳、学校に行けず花嫁になる」 ・「新・気づいて乗り越えるー精神的DVに悩む女性のためのガイドブック」 DVD ・「グレース・オブ・モナコ」 ・「わたしたちの都」 を平成27年度で購入。	1	3	1	1	1	今後も引き続き、図書・DVDの充実を図り、啓発に取り組む。	2	人権・男女参画室

No	事業
20	「女と男のフォーラム」の企画・運営等を通して女性のエンパワメントを支援します。 ◆「女と男のフォーラム」の開催

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
企画・運営を協働でおこなう市民実行委員会を立ち上げ、「女と男のフォーラム」を開催した。 テーマ:ゴスペルとBig Mamaと呼ばれた女たちMake A Change!あなたも世界を変えられる 開催日:平成28年2月6日(土) 参加人数:270人(女性225人 男性45人) 保育:4人	1	2	1	1	1	今後も引き続き、女性のエンパワメントにつなげられるよう取り組む。	2	人権・男女参画室

No	事業
21	モアいずみ通信やホームページ、さらには「いきいきライフ講座」等を通じて、様々な分野で活躍する女性をロールモデルとして紹介します。 ◆いきいきライフ講座、いずみワクワク講座の開催

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
27年度は、講師の生き方を学び、自分らしく生きることのすばらしさに気づき、自分の生き方深めることを目的に「いきいきライフ講座」を2回実施した。 9/14(月)「500人の留学生を支援して～妻、母親、時々父親～」(定員30人・参加者30人) 2/25(木)「自分らしい生き方ってなあに？ヴァニアさんの手作りお菓子とブラジルのお話」(定員30人・参加者25人) 様々な分野で活躍する市民講師に講師依頼し、いずみワクワク講座を開催した。講師をロールモデルとして紹介し、男女共同参画についての意識啓発を図った。	1	1	1	1	1	引き続き、講座を通じて講師をロールモデルとして紹介し、男女共同参画を推進する。	2	人権・男女参画室

施策の方向(3)男性にとっての男女共同参画の推進

施策⑦ 家庭・地域への男性の参加・参画の推進

No	事業
22	男性が仕事中心の生き方を振り返り、家庭や地域に参画するきっかけづくりとして、学習や交流機会の充実を図ります。 ◆親学習講座 ◆エンゼルハウス運営事業 ◆行事や半日保育参加への呼びかけ ◆「子育て応援講座」「男性学講座」の開催

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
親学習講座など、男女関わらず参加してほしいイベントのチラシを各種掲示板やチラシBOXに配置した。 親学習第1回(5人) 第2回(27人) 第3回(8人) 第4回(4人) 第5回(28人) 第6回(4人) 第7回(21人) 第8回(5人) 第9回(6人) 第10回(8人) 第11回(22人) 第12回(19人)	2	3	2	2	2	中学生や小学生に向けての親学習を行っていく。	2	生涯学習課
エンゼルハウスでの親学習を通じて、父親の子育て参加を促し、家族で参加する「Familiday」及び「お父さんデー」毎月1回実施。 市内にエンゼルハウス5ヶ所を設置し、運営。 【年間エンゼルハウス参加人数】 ・鶴山台: 10,862名 ・府中: 9,277名 ・北松尾: 8,471名 ・和泉中央: 10,252名 ・青葉台: 10,777名	2	3	2	2	2	今後も、子どもたちとの接点を増やし、日頃顔を会わせる機会のないお父さん同士の輪も広がるよう、家族での参加を促していく。	2	子ども未来室
運動会、発表会では、男性の参加は女性同様に多かった。 発表会においては園児数の多い園では、平日と土曜日の2回おこない、父親等の男性が参加しやすくなるようにした。	1	3	1	1	1	半日保育参加では、平日の為、参加率は低い為、1クラスに2～3組の父親の参加がある。	2	子ども未来室

①子育て応援講座「パパとつろう、ミートローフでクリスマスリース」 12/19(土)午前と午後の2回実施 参加9組×2回・延べ参加人数77人 ②男性学講座「意識改革でハッピーライフ」 1/24(日) 参加人数48人/30人定員	1	3	1	1	1	①②どちらの講座も休日に行い仕事を持つ男性も参加しやすい工夫をした。	2	人権・男女参画室
---	---	---	---	---	---	------------------------------------	---	----------

No	事業
23	男性の意識改革や生活自立のための実践的な家事講座等を実施します。 ◆男性学講座

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
男性学講座「意識改革でハッピーライフ」 1/24(日) 参加人数48人/30人定員 定年退職されて、地域活動に参加したい方や、今現在仕事中心で働いている方など、定年後の地域活動や家庭生活など、働き方の見直しと男女ともお互い自立し助け合いながら生活していくことの大切を学ぶ機会とした。 休日に行い仕事を持つ男性も参加しやすい工夫をした。	1	3	1	1	1	例年実施している講座で、27年度はテレビ等でも認知度の高い講師に依頼したこと、定年後の地域活動や家庭生活などを模索しているニーズが合致したため、男女とも参加が多くなった。今後も、男性の地域や家庭への参画の推進となる講座を実施していく。	2	人権・男女参画室

施策の方向(4) 男女平等意識の浸透

施策⑧ 固定的な性別役割分担意識を解消するための市民への働きかけ

No	事業
24	「何について(男女平等に関する課題)」「誰に向かって(例えば「男性に」等、対象者を絞り込む)」「どんな方法で(広報紙、ホームページ、講演会、「男女共同参画週間」「人権週間」の時に、等)」を的確に判断し、体系的、段階的に市民への啓発活動を進めます。 ◆市政情報発信事業 ◆「男女共同参画週間事業(ミニフォーラム)」「女と男のフォーラム」 ◆男女共同参画週間等に合わせた資料展示 ◆市こども会育成連絡協議会や青少年問題協議会への啓発紙の配布 ◆男女共同参画等に関する資料展示 ◆男女平等の意識を育む ◆中学校区における人権研修会や講演会等の地域への啓発活動の実施 ◆広報・ホームページ

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
市の施策やイベント・講座などの情報を広報いずみを通じて全戸配布するとともに、ホームページやTwitter・Facebook・いずみメールでも情報配信を行った。(再掲I-2-5-17)	1	3	1	1	1	引き続き、男女平等意識を持ち広報紙の発行や市ホームページ、SNSを活用し広く周知する。	2	いずみアピール課

<p>・男女共同参画週間事業(ミニフォーラム) 開催日:H27年6月20日(土) 内容:「男女共同参画で四角じゃない丸い世の中」日本のあるある夫婦像を描いた古典落語 参加人数:154人(女性102人 男性52人)</p> <p>・女と男のフォーラム 開催日:H28年2月6日(土) 内容:「ゴスペルとBig Mamaと呼ばれた女たち Make A Change!あなたも世界を変えられる」ゴスペルとトーク 参加人数:270人(女性225人 男性45人)</p>	1	2	1	1	1	今後も引き続き、啓発活動を行う。	2	人権・男女参画室
<p>男女共同参画週間事業(ミニフォーラム)や女と男のフォーラムで、モアいずみ(和泉市男女共同参画センター)及びモアいずみ登録団体の活動内容のパワーポイント上映。また、モアいずみの紹介ポスターや登録団体のポスター及び作成品等を掲示。</p>	1	3	1	1	1	今後も引き続き、男女共同参画に関する資料展示を行い、啓発活動に取り組む。	2	人権・男女参画室
<p>女と男のフォーラム等、イベント情報を積極的に情報提供した。</p>	2	3	2	2	2	今後も引き続き、情報提供を行う。	2	生涯学習課
<p>シティプラザ図書館において、男女共同参画コーナーを設け、通年で資料の表紙を見せながら展示するなど、手に取りやすい工夫を行った。</p> <p>資料展示実施回数 1回</p>	2	2	2	1	1	平成27年度からオアシスプランに基づき、シティプラザ図書館にて実施することができた。 次年度以降は、他の図書館でも資料展示が実施できるよう徐々に広げていきたい。	2	読書振興課
<p>保育園・幼稚園では、生活発表会等で、性別役割分担のある劇遊びや取り組みをおこなっていない。園での保育の様子全般を見ていただくことが、保護者への男女平等意識を高めていただくことにつながっている。 また、男性保育士が日々の保育を担当することや保護者へ子育ての相談に応じることが、市民に対する性別役割分担意識を解消するための働きかけとなっていると思う。</p>	2	3	2	2	2	今後は、わかりやすい啓発の仕方を取り入れていきたい。	2	こども未来室
<p>地域において男女平等・男女共同参画の考え方が定着するよう、中学校区単位の地域教育協議会での講演会、各校PTAの人権啓発活動(性教育について等)を実施するよう指示した。</p>	1	2	3	2	3	PTAで研修会を開いたり、男女平等教育について授業参観で取り組み、懇談会でもテーマとして取り上げた学校があった。PTA活動における男女共同参画の視点について、もっと踏み込んで指示する。	3	教育委員会指導室
<p>高齢者福祉サービスや介護予防の内容を、広報・ホームページ・パンフレットを通じ情報提供を行っている。広報・ホームページに掲載の際は、男女共同参画の視点から、必要に応じ適切な表現を使用するようにしている。</p>	2	3	2	2	2	もっと積極的に働きかけを行う必要がある。	2	高齢介護室

No	事業
25	地域活動において、男女共同参画社会の理解を深めるための出前講座等の内容の充実と広報の強化を図ります。 ◆出前講座での広報の工夫 ◆男女共同参画推進事業(オアシス)助成金事業の実施

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
窓口やホームページ等において、出前講座の募集を行った。	2	3	2	2		今後も引き続き、事業を行う。	2	生涯学習課
男女共同参画社会づくりの推進のために、市民団体等が自主的に行う活動に対して、平成27年度男女共同参画推進事業(オアシス)助成金事業を行った。 (平成27年度男女共同参画推進事業(オアシス)助成金交付団体) ①グループワーキング“はじめのいっぽ”「親子で防災減災を考えよう！」 ②いずみヒューマンネット「男性のための土鍋を使った自己完結型料理」 ③和泉母親連絡会「アンネのバラで平和を学ぶ」 ④NPO法人和泉100人委員会「ちゃんと学んでおこうよ♪子どもの心と体と性的なこと」 ⑤ローズウッドー「ママパパ、家庭でできるフランス料理に挑戦！」	1	2	1	1		平成27年度助成金交付団体は5団体で、目標10団体に届かなかった。引き続き助成金制度についての周知等、積極的に行う。	2	人権・男女参画室

No	事業
26	男女共同参画社会づくりのために啓発冊子を定期的に発行します。 ◆啓発冊子作成業務

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
下記内容を盛り込んだ平成27年度啓発冊子「CHANGE」を作成し、広報いずみ平成28年4月号にて全戸配布をし、啓発を行った。 (冊子内容) 女性の活躍推進法、ワーク・ライフ・バランス、DV及びデートDV、モアいずみ(男女共同参画センター)施設案内、DV及び女性総合相談、セクシュアル・マイノリティ相談等の相談窓口案内 (全戸配布部数) 73,000部	1	1	2	1		男女共同参画の基本的な認識と理解を深めるために必要な啓発内容を精査し、啓発冊子を作成することができた。全戸配布することにより、効率よく啓発することができた。	2	人権・男女参画室

No	事業
27	市民との協働のもと、男女共同参画社会づくりの認識と理解を深めるための啓発イベントを定期的に開催します。 ◆「女と男のフォーラム」「男女共同参画週間事業ミニフォーラム」の開催

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
・女と男のフォーラム 開催日：H28年2月6日(土) 内容：「ゴスペルとBig Mamaと呼ばれた女たち Make A Change!あなたも世界を変えられる」ゴスペルとトーク 参加人数：270人(女性225人 男性45人) ・男女共同参画週間事業(ミニフォーラム) 開催日：H27年6月20日(土) 内容：「男女共同参画で四角じゃない丸い世の中」日本のあるある夫婦像を描いた古典落語 参加人数：154人(女性102人 男性52人)	1	3	1	1	1	今後も引き続き、市民との協働のもと、啓発活動に取り組む。	2	人権・男女参画室

施策⑨ 市職員の男女平等・男女共同参画意識の向上

No	事業
28	市職員や連携機関の職員等に対して男女共同参画に関する研修等を充実します。 ◆男女共同参画研修 ◆男女共同参画施策推進員の研修の実施 ◆留守家庭児童会指導員研修の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
新規採用職員に対して、男女共同参画についての研修を実施した。 受講者がそれぞれの職務との関連性を考え、認識がより深まるよう、仕事に慣れた頃に研修時期を設定するよう改善した。 実施日：平成28年2月19日 研修内容：男女共同参画社会の理念・現状・課題 新規採用職員9人中 6人参加	2	2	1	1	1	受講者がそれぞれの職務との関連性を考え、認識がより深まるよう、仕事に慣れた頃に研修時期を設定したことで、男女共同参画に対する意識の向上を図ることができたが、業務多忙等により参加が困難となった職員もいたため、開催時期については再検討が必要。	2	人事課
平成27年度男女共同参画推進員研修会 ①テーマ「LGBTのこと、そして人権」平成27年11月26日開催 参加人数39人/53人(参加率74%) ②テーマ「男女共同参画社会の理念・現状・課題」平成28年2月19日開催 参加人数37人/53人(参加率70%)	1	1	1	1	1	全員が受講できるよう、研修時期等に配慮を行ったが、当日急務等で参加率72%となった。引き続き研修時期の配慮は行う。 ②平成28年2月19日開催の研修会については、推進員のほか、平成27年度新規採用職員も受講(6人/9人)した。	2	人権・男女参画室

「和泉市留守家庭児童会条例」の設置の主旨に基づき、児童の適切な遊び場及び生活の場を提供するため、年間10回の支援員研修会を実施している。	2	3	3	1	1	今後も引き続き、研修を行う。	2	生涯学習課
--	---	---	---	---	---	----------------	---	-------

No	事業
29	和泉市男女共同参画施策推進本部・幹事会の取組を強化します。 ◆和泉市男女共同参画施策推進本部・幹事会の開催

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
平成27年度和泉市男女共同参画施策推進本部・幹事会 平成27年7月8日開催 (内容)①第2期オアシスプラン推進状況について ②第3期オアシスプラン及びDV防止基本計画について ③DV研修	1	1	1	1	1	推進本部(市長・部長級職員)、幹事会(課長級職員)を合同で開催し、第2期オアシスプランの状況報告ふまえ、第3期オアシスプランの今後の進行管理等について、意思統一を図ることができた。	1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	人権・男女参画室

施策⑩ 性に捉われない人権の尊重

No	事業
30	男女の性差についての正しい知識の周知を図るとともに、性的マイノリティへの理解を深めるための啓発を推進します。 ◆モアいずみ通信の発行・図書コーナー等で人権啓発ビデオの貸し出し。 ◆性的マイノリティへの理解を深めるための取組みを推進

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
・H27年8月6日(木)「アルパート氏の人生」DVD上映 ・マイノリティについての図書を購入。 「セクシュアル・マイノリティへの心理的支援」 「ゲイのボクから伝えたい「好き」の?(ハテナ)がわかる本」 「同性婚 私たち弁護士夫婦です」 ・情報提供として、大阪府人権相談やよりそいホットライン等電話相談窓口についてチラシ作成を行い、関係機関や教育委員会に配架し、相談窓口の周知をはかった。また、市ホームページにも掲載した。 ・人権職場推進員及び男女共同参画施策推進員を対象に職員研修を実施。 テーマ:「LGBTのこと、そして人権」 参加人数:40人 ・職員への情報誌「オアシスIZUMI」で、性的マイノリティをとりあげ、正しい理解を深めるための啓発を行った。	1	3	1	1	1	性的マイノリティへの理解を深めるための情報を収集し、今後も引き続き、啓発に取り組む。	1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	人権・男女参画室

性的マイノリティについて、管理職及び担当者を対象とした研修(2月29日)を行った。 ○テーマ「教育現場の安心・安全のために～いじめ・セクシュアルハラスメントの防止・性的マイノリティへの配慮など～」 ○参加人数…65人	1	1	1	1	1	管理職や担当者への入れ替わりもあり、継続して啓発する。研修内容について、各学校の教職員へ確実に伝達するように指示する。	2	教育委員会指導室
--	---	---	---	---	---	---	---	----------

施策⑪ 男女共同参画にかかる資料等の充実と積極的提供

No	事業
31	男女平等・男女共同参画施策の進捗状況を知り、施策の見直しをするための男女共同参画に関する調査を継続的に実施します。 ◆男女共同参画に関する市民意識調査(10年に1回)

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
男女平等・男女共同参画施策の進捗状況を知り、施策の見直しをするための男女共同参画に関する調査を実施(10年に1回)し、次期行動計画策定の基礎資料とする。 ※次期は、平成35年度に実施予定のため、平成27年度は実施していない。	4	4	3	3	3		2	人権・男女参画室

No	事業
32	男女別統計の必要性の啓発を進め、様々な男女別統計を作成します。 ◆統計いずみにおける男女別データの公表 ◆いずみデータブックの作成

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
統計いずみ等を通じ、女性の現状を表す資料として、統計調査などの男女別集計結果を公表した。 7件(人口、国勢調査、経済センサス、農林業、工業、教育、行財政)	2	3	1	2	1	今後も引き続き、統計いずみ等を通じ、男女共同参画にかかる資料等の充実と積極的提供に努める。	2	総務管財室
結婚と出生(出生数推移等)、政策・方針決定(審議会等の女性委員割合推移等)、教育(男女別学校種類別進学率の推移等)、労働(男女の賃金格差推移等)、女性に対する暴力(配偶者間における犯罪件数等)、国際比較(GII(ジェンダー不平等指数等)を集約した「いずみデータブック2016版」を作成した。	1	3	2	1	1	男女共同参画にかかるデータを収集し、本市における施策の進行管理に活かす。	2	人権・男女参画室

No	事業
33	男女共同参画に関する図書や資料の収集と提供を充実します。 ◆男女共同参画に関する資料収集 ◆男女共同参画に関する資料提供 ◆図書館における男女共同参画に関する資料の収集

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
シティプラザ図書館の男女共同参画コーナーを充実させるため、男女共同参画に関する資料を購入した。 ・「働きたいママの就活マニュアル」他 44冊	2	3	1	1	1	今年度は目標値の2倍以上購入することができた。 前年度に比べ利用が減少しているため、今後は、魅力ある資料の購入と書棚づくりを検討する必要がある。	2	読書振興課
シティプラザ図書館の男女共同参画コーナーの棚に本の表紙を見せ展示するなど、手にとってもらえるよう工夫した。	2	3	2	1	1	表紙を見せて展示するなどして手に取ってもらいやすいよう工夫したが、目標には達しなかった。 今後、展示方法等について検討する必要がある。	3	読書振興課
モアいずみ(男女共同参画センター)の図書コーナーにおける図書や資料の収集と提供を行った。	1	3	1	1	1	今後も引き続き、収集と提供に取り組む。	2	人権・男女参画室

施策の方向(5)人権尊重、男女平等に立ったメディアの確立

施策⑫ 市の刊行物等の表現の配慮

No	事業
34	市が作成する広報紙、刊行物、ポスター、チラシ等は、内閣府男女共同参画局発行の「男女共同参画の視点からの公的広報の手引」に基づいて、男女共同参画の視点を入れ、制作します。 ◆市政情報発信事業 ◆掲示適正な表現であるかの確認 ◆市内の掲示ポスター、広報紙、ホームページ等を男女共同参画の視点で点検 ◆広報紙、刊行物、ポスター、チラシ等の作成 ◆発信する刊行物等を男女共同参画の視点で製作・点検 ◆広報・ホームページ

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
男女共同参画を視野(デザイン色に関して、男の子は青、女の子は赤などと決め付けず、男女とも共有色である緑色や黄色などの配色に心がけやイラストを使う際、お母さんが赤ちゃんを抱っこしているのではなくお父さんが抱っこしているイラストや女性が料理するイラストではなく男性が料理をするイラストを用いるなど)に入れ、広報いずみやホームページ・Twitter・Facebook・いずみメールを制作した。	1	2	1	1	1	引き続き、男女平等意識を持ち広報紙の発行や市ホームページ、SNSを活用し広く周知する。	2	いずみアピール課

庁内において掲示依頼のあるポスター・チラシ等について、本施策の視点に立って適正な表現であるかを見極め、必要に応じて関係部局と協議を行った。	2	3	1	1	1	庁内において掲示依頼のあるポスター・チラシ等について、本施策の視点に立って適正な表現であるかを見極めることができた。	2	総務管財室
市が作成する広報紙、刊行物、ポスター、チラシについて、男女共同参画の視点の欠けたものを発見した場合は、速やかに担当課と協議し、改善の要望を行った。	1	3	2	1	1	引き続き、市が作成する広報紙、刊行物、ポスター、チラシを随時点検する。	2	人権・男女参画室
広報誌、刊行物、ポスター、チラシ等を作成する場合には、「男女共同参画の視点からの公的広報の手引」を参考にし配慮した。	2	3	2	2	2	刊行物等を作成する際は、「男女共同参画の視点からの公的広報の手引」を参考にし、作成には十分配慮する。	2	子ども未来室
指導室で作成する刊行物、冊子等の内容や表現について男女共同参画の視点で製作・点検した。	1	2	1	1	1	引き続き、男女共同参画の視点について配慮する。	2	教育委員会指導室
啓発用チラシなどは男女共同参画の視点から、必要に応じ適切な表現を行って行く。	3	3	2	2	2	もう少し男女共同参画の視点をもって取り組みたい。	2	高齢介護室

施策⑬ メディア・リテラシーの向上

No	事業
35	<p>メディア・リテラシーの向上のための学習機会を提供します。</p> <p>◆学校における「情報モラル教育」の実施 ◆メディア・リテラシーに関する資料展示</p> <p>◆男女共同参画社会づくり講座の実施</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映しただけしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持	4.進まなかった	(1)	(2)			
ICTコンピュータネットワークの整備に伴い、インターネットのフィルタリングについての研修をはじめ、情報モラル教育について、資料や研修講師などの情報を各学校に提供し、各校での子ども対象の学習会を推進させた。	1	2	1	1	1			スマホやケータイの子どもたちへの普及が急速に進み、ネットトラブルについての学習をする機会を拡充したが、さらに進める。	1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	教育委員会指導室
未実施(メディア・リテラシーに関する資料展示)	4	4	3	3	3			初年度の取組としては、男女共同参画コーナーの資料の展示方法を工夫するにとどまった。今後、期間限定の特集コーナー等を設置できるように、指定管理者と協議していく。	3	読書振興課

男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座において、メディア・リテラシーの向上のための講座を実施。 タイトル:メディア・リテラシー ～メディアを読み解く力～ 開催日:10月15日(木) 受講生:16人	1	3	1	1	1	今後も引き続き、講座を実施し、メディア・リテラシーの向上を図る。	2	人権・男女参画室
---	---	---	---	---	---	----------------------------------	---	----------

No	事業
36	性的感情、暴力性を助長するような有害図書・ビデオ及び喫煙・飲酒・薬物乱用等悪影響を及ぼすことについて大阪府と連携し、環境の改善を図ります。 ◆全小学校区での定期的な巡回パトロールの実施 ◆「青少年の非行・被害防止に取り組む全国強化月間」の取組

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
青少年指導員協議会に対し、校区ごとに巡回パトロールの強化を依頼した。	2	3	2	2	2	今後も引き続き、事業を行う。	2	生涯学習課
毎年7月の青少年を非行から守る全国強化月間にあわせ、「青少年を非行から守る」市民大会を開催し、啓発に取り組んだ。(303人) 毎年6月に広報車で全校区を巡回し、青少年を非行から守る全国強化月間等について啓発を行った。	2	3	2	2	2	今後も引き続き、事業を行う。	2	生涯学習課

基本目標Ⅱ 男女平等の参加・参画で社会を活性化する 施策の方向 6 意思決定の場への女性の参画の推進

施策⑭ ポジティブ・アクション(積極的改善措置)の考え方

No	事業
37	市民・事業者・行政等のあらゆる分野にポジティブ・アクション(積極的改善措置)の考え方を導入し、男女共同参画を推進します。 ◆女性職員の職務内容の見直しと職域の拡大 ◆ポジティブ・アクション(積極的改善措置)の周知 ◆ポジティブ・アクション(積極的改善措置)の考え方についての啓発 ◆町会等への働きかけ ◆地域の各種団体の長等を選出する際において、女性役員の登用を積極的に行うよう啓発します。

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
研修、人事評価、上司によるOJT等を通じた女性職員の職域拡大に向けた育成を行うとともに、多様な職務経験を付与すべく、人事異動において勧案した。 管理的地位にある職員数 173名(うち女性30名)	1	3	1	1	1	研修、人事評価、上司によるOJT等を通じた女性職員の職域拡大に向けた育成を行い、多様な職務経験を付与すべく、人事異動において勧案することにより、実績値が目標値を上回る結果となった。	2	人事課

平成27年6月1日に和泉中央駅及び和泉府中駅にて、就職差別撤廃キャンペーンの一環として啓発物を配布し、女性を含む就職差別の撤廃啓発を実施。	1	3	2	1	1	平成28年4月に施行された女性活躍推進法について、今後より一層、会員企業をはじめとした和泉市内の企業に対し、周知していく必要がある。	1	商工労働室
・モアいすみ通信(144号)にてポジティブ・アクション(積極的改善措置)の周知を行った。 ・男女共同参画施策推進員に対しては、平成28年2月19日開催の男女共同参画施策推進員研修会の中で、ポジティブ・アクション(積極的改善措置)について重要性や必要性を講師に講義いただき学ぶ機会とした。	1	2	1	1	1	あらゆる分野にポジティブ・アクション(積極的改善措置)の考え方を導入することの重要性について啓発していく。	2	人権・男女参画室
5月校区会長会議(平成27年5月18日開催) 男女共同参画週間事業のチラシ掲示依頼 12月校区会長会議(平成27年12月18日開催)「男と女のフォーラム」チラシの掲示依頼(平成27年度) 町会連合会に属する町会長 203人(うち女性 13人 男性190人)	2	2	2	2	2	男女共同参画室との連携に努めることができた。今後も、連携を密に事業を実施していく。	2	公民協働推進室
社会教育団体等、各種団体の選出にいたっては、オアシスプランの意図を説明し、積極的な登用に向けて説明を行った。 【役員人数】 和泉市PTA協議会(女性7人 男性15人)22人 和泉市青少年指導員協議会(女性1人 男性25人)26人 和泉市女性ネットワーク(女性17人) 和泉市子ども会育成連絡協議会(女性4人 男性6人)9人 和泉市文化協会(女性3人 男性6人)9人	2	3	2	2	2	今後も積極的な登用に向け、説明を行う。	2	生涯学習課

施策⑮ 審議会等への女性の参画の推進

No	事業
38	市の審議会等の附属機関や行政委員会等の女性委員の比率を、平成36(2024)年までのできるだけ早い時期に40%の達成をめざします。 ◆女性委員の参画率

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
・年度当初において、女性委員の登用について事前協議の実施及び、40%の目標達成についての通知文を各課(室)の長あて送付し、各課(室)職員に周知を図った。 ・女性人材リストの充実を努めた。桃山学院大学及び大阪府立大学へ協力依頼した。	1	4	1	1	1	引き続き、事前協議を実施し、目標を達成するよう関係各課との協議強化に努める。	1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.相小 5.廃止	人権・男女参画室

No	事業
39	女性委員がいない審議会等に対しては、『0から1』への働きかけを行い、女性委員のいない審議会等の解消をめざします。 ◆事前協議の強化

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
4.実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
女性委員0人の審議会等は4件あり、うち1件については平成27年度改選時期において女性委員1名の登用があった。引き続き、次期の委員改選時には、委員選定時の基準の見直し等改善を促し、女性委員0人の解消をめざす。	2	2	1	1	1	委員選定時の基準の見直し等改善を促しながら、目標達成をめざす。	1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.相小 5.廃止	人権・男女参画室

No	事業
40	意思決定過程への女性の参画を推進するため、審議会等における委員の選出方法の見直しを進めます。 ◆先行市の取組研究

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	(1) (2) (3)		1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	
大阪府下市町村における委員の選出方法等の調査を行った。調査内容をふまえ、本市における女性人材リストの充実、事前協議の強化を引き続き行う。	1	3	1 1 1	先行市の取組等研究を行う。	2	人権・男女参画室

No	事業
41	審議会委員等の委員の改選時は、男女共同参画所管部長との事前協議を行います。 ◆事前協議

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	(1) (2) (3)		1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	
審議会等の委員改選時には、事前協議にて女性委員の参画率40%をめざし協議を行った。 委員選出依頼文に、女性委員登用の主旨の記載をするよう依頼、また、充て職等委員構成の見直し依頼をするなどを行った。 平成27年4月1日現在 登用率 32.8%	2	4	2 1 1	引き続き、事前協議を実施し、目標を達成するよう関係各課との協議強化に努める。	1	人権・男女参画室

No	事業
42	女性が政治や政策・方針決定の場への参加・参画することの重要性について、市民に啓発します。 ◆市民啓発

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	(1) (2) (3)		1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	
男女共同参画センターの登録団体の方や男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座の受講生・修了生に審議会委員への参画の働きかけを行った。 平成27年10月1日から男女共同参画審議会委員2人に委嘱 女性1人・男性1人 ※男女共同参画審議会委員10人(女性5人 男性5人)	1	2	1 1 1	今後も引き続き、女性が政策方針決定の場への参画することの重要性について啓発を行う。	2	人権・男女参画室

施策⑩ 女性職員・女性教員の管理職への登用

No	事業
43	女性職員・教員の職務内容の見直しと職域の拡大を図ります。 ◆女性職員の職務内容の見直しと職域の拡大 ◆残業の見直し、サポート体制の整備 ◆人材育成、管理職候補者の育成についてヒアリングを行う。

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
<p>研修、人事評価、上司によるOJT等を通じた女性職員の職域拡大に向けた育成を行うとともに、多様な職務経験を付与すべく、人事異動において勘案した。(再掲Ⅱ-6-14-37)</p> <p>管理的地位にある職員数 173名(うち女性30名)</p>	1	3	1	1	1	<p>研修、人事評価、上司によるOJT等を通じた女性職員の職域拡大に向けた育成を行い、多様な職務経験を付与すべく、人事異動において勘案することにより、実績値が目標値を上回る結果となった。</p>	2	人事課
<p>長時間労働の是正など、仕事と家庭生活を両立しやすい職場づくりを進めるため、OJT研修やマニュアル作成研修等を活用して、職場における業務の効率化に対する意識の高揚を図った。時間外勤務が多い部課の状況を定期的に確認し、必要に応じてヒアリングを実施した。</p> <p>・OJT研修(職階別研修) 対象 主任昇格対象者 参加人数 29人(男性12人 女性17人)</p> <p>・マニュアル作成研修(マッセ) 対象 全職員 参加人数 2人(女性2人)</p>	2	2	1	1	1	<p>OJT研修やマニュアル作成研修等を活用して、職場における業務の効率化に対する意識の高揚を図ったほか、時間外勤務が多い部課の状況を定期的に確認し、必要に応じてヒアリングを実施したが、実績値が目標値を下回ったため、取り組みの強化が必要であると考えた。</p>	2	人事課
<p>各校において、女性教職員が校務の中心となり、積極的に学校運営等に参画できる組織作りと人材育成について取り組むよう校長会等で指示した。また、ヒアリングを通して女性管理職候補者の掘り起こしと育成について状況を確認し、必要に応じて指導・助言を行った。</p>	1	3	1	2	3	<p>女性の管理職が増えるよう、キャリアモデルのイメージをつませる。そのため女性の分掌長や教頭、校長のライフプランを発信していく。</p>	3	教育委員会指導室

No	事業
44	女性職員・教員及び管理職に対する研修(教育訓練)を充実します。 ◆女性リーダー養成のための研修 ◆係長級昇任試験の受験者数向上 ◆学校におけるミドルリーダー研修の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持	4.進まなかった	(1)	(2)			
<p>女性職員にリーダーとしての力を身に付けてもらうべく、職階別研修に積極的に参加させ、女性職員の意識改革を図った。また、OJTを浸透させることにより、リーダーの育てる力と部下の能力の向上を図った。</p> <p>①テーマ:組織目標を達成するために、管理職員として、部下の仕事の管理や業務改善のポイントを学び、効果的なマネジメント手法を身に付ける。 対象:補佐級(53人(男性39人・女性14人)) 参加人数:38人(男性29人・女性9人)</p> <p>②テーマ:仕事を効率的に行うために、上司や部下とのよりよい関係を構築し、組織におけるチーム力を向上させる。 対象:新任係長級(35人(男性23人・女性12人)) 参加人数:24人(男性16人・女性8人)</p> <p>③テーマ:結果を出す組織を作るために、コミュニケーション力でリーダーシップを発揮し、また後輩育成に必要なOJT指導スキルを学ぶ。 対象:主任昇格対象者(32人(男性13人・女性19人)) 参加人数:29人(男性12人・女性17人)</p> <p>※近隣市と共催で開催予定の女性職員に限定した研修については、隔年開催となるため、平成28年度開催を予定。</p>	1	2	1	1	1			女性職員にリーダーとしての力を身に付けてもらうべく、職階別研修に積極的な参加を呼びかけたため、実績値が目標値を上回る結果となった。	2	人事課
<p>係長級昇任後の職務にやりがいを持てるように説明会を開催するとともに、受験募集期間を長期間確保するなど、受験対策がしやすい環境を整えた。家庭事情等により試験合格後に最大3年間昇任を保留できる制度をつくった。</p> <p>平成27年度対象者 113名 (うち女性職員 43名) 受験者 61名 (うち女性職員 9名) 受験率 54.0% (うち女性職員 20.9%)</p>	1	1	1	1	1			係長級昇任後の職務にやりがいを持てるように説明会を開催するとともに、受験募集期間を長期間確保するなど、受験対策がしやすい環境を整えたため、実績値が目標値を上回る結果となった。	2	人事課
<p>女性教員の管理職選考の受験者を増やすため、校長会や学校訪問時に呼びかけを行った。 ミドルリーダー育成のための研修会をもった。 H27年度 ミドルリーダー研修 ・日時 平成27年8月4日(火) ・参加人数 9人(内女性5人) ・内容 「ミドルリーダーの職務や資質について」 「課題解決に向けた行動計画作成演習」など</p>	1	2	2	2	2			研修の開催時間を夏休みの勤務時間に設定し、出席しやすいような配慮を行った。	2	教育委員会指導室

No	事業
45	<p>管理職への女性職員・教員の登用比率を高めるため、数値目標を掲げ、その達成をめざします。</p> <p>◆女性職員の管理職登用 ◆女性教職員の管理職任用を積極的推進</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持	4.進まなかった	(1)	(2)			
<p>研修、人事評価、上司によるOJT等を通じた女性職員の職域拡大に向けた育成を行うとともに、能力に基づき管理職へ登用した。</p> <p>管理的地位にある職員数 173名(うち女性30名)</p>	1	2	1	1	1			<p>研修、人事評価、上司によるOJT等を通じた女性職員の職域拡大に向けた育成を行い、能力に基づく登用を行ったため、実績値が目標値を上回る結果となった。</p>	2	人事課
<p>和泉市立学校教職員人事基本方針の中に「女性教職員の管理職任用を積極的に推進する」と明記していることをふまえて、校長会等において積極的に働きかけを行い推進を図った。また、学校訪問時等に女性教員の積極的な学校運営への参加を促し、管理職への意識づけを行うことを指示した。教育長による校長面談時に、OJTや「教職員の評価・育成システム」等を活用して女性教員の計画的な育成を示した。</p> <p>平成27年度女性管理職 校長(小学校3名 中学校1名) 教頭(小学校3名 中学校2名)</p>	1	2	1	2	2			<p>女性の管理職が増えるよう、キャリアモデルのイメージをつまさせる。そのため女性の分掌長や教頭、校長のライフプランを発信していく。</p>	3	教育委員会指導室

施策⑩ 事業所や地域における意思決定の場への女性の参画促進

No	事業
46	<p>事業者等に対し、女性の活力があってこそその経済成長であるとの認識に立って、ポジティブ・アクション(積極的改善措置)の導入等、女性の採用・管理職の登用の重要性について啓発します。</p> <p>◆ポジティブ・アクション(積極的改善措置)の周知 ◆事業者への積極的な情報提供</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持	4.進まなかった	(1)	(2)			
<p>平成27年7月1日に実施した総会内で、男女共同参画を推進する旨の啓発及び、12月には会員事業所に対し、女性活躍推進法のパンフレット等を送付することにより啓発を実施。</p>	2	3	2	1	1			<p>平成28年4月に施行された女性活躍推進法について、今後より一層会員企業をはじめとした和泉市内の企業に対し、周知していく必要がある。</p>	2	商工労働室
<p>事業者に対する国・府からの情報については、商工労働室と共有し、双方から情報を発信した。</p> <p>また、市ホームページで、内閣府や大阪府また、男女共同参画に関係する団体等の施策や啓発情報をリンクさせることにより、市民が市ホームページからあらゆる情報を取得できる環境を整備。更なる充実を図る。</p>	1	2	1	1	1			<p>引き続き、連携しながら情報を発信する。</p>	2	人権・男女参画室

No	事業
47	地域の各種団体の長等を選出する際において、女性役員の登用を積極的に行うよう啓発します。 ◆町会等への働きかけ(Ⅱ-6-14-37再掲) ◆老人クラブ連合会への働きかけ ◆地域の各種団体の長等を選出する際において、女性役員の登用を積極的に行うよう啓発する。

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
5月校区会長会議(平成27年5月18日開催) 男女共同参画週間事業のチラシ掲示依頼 12月校区会長会議(平成27年12月18日開催)「男と女のフォーラム」チラシの掲示依頼 (Ⅱ-6-14-37 再掲) (平成27年度) 町会連合会に属する町会長 203人(うち女性 13人 男性190人)	2	3	2	2	2	男女共同参画室との連携に努めることができた。今後も、連携を密に事業を実施していく。	2	公民協働推進室
老人クラブ若手部・若手リーダー研修会に参加した。(計4回) H27年度老人クラブ連合会役員数: 男性29名、女性4名、計33名 H26年度老人クラブ連合会役員数: 男性29名、女性4名、計33名	4	4	1	2	2	今後はもっと積極的に啓発していきたい。	2	高齢介護室
社会教育団体等、各種団体の選出にいたっては、オアシスプランの意図を説明し、積極的な登用に向けて説明を行った。(再掲Ⅱ-6-14-37) 【役員人数】 和泉市PTA協議会(女性7人 男性15人)22人 和泉市青少年指導員協議会(女性1人 男性25人)26人 和泉市女性ネットワーク(女性17人) 和泉市こども会育成連絡協議会(女性4人 男性6人)9人 和泉市文化協会(女性3人 男性6人)9人	2	3	2	2	2	今後も引き続き、積極的な登用に向け、説明を行う。	2	生涯学習課

施策⑩ 女性の人材育成

No	事業
48	行政や地域で活躍できるよう人材を育成します。 ◆男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座を通じて、講座受講生のエンパワメントを図るため、平成27年度男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座を実施した。 (定員30人・申込人数21人・修了者数10人)	1	1	1	1	1	行政や地域で活躍できるよう人材育成を図る。	2	人権・男女参画室

No	事業
49	女性のさらなるエンパワメントをめざす講座を実施します。 ◆モアいずみ(男女共同参画センター)で講座・講演会等の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
		(1)	(2)	(3)				
・働く女性応援講座 「女子力アップ」セミナー(3回) 参加人数: 延べ63人 ・いきいきライフ講座 「500人の留学生を支援して～妻、母親、時どき父親～」(1回) 参加人数: 女性23人 男性7人 「自分らしい生き方ってなあに? ヴァニアさんの手作りお菓子とブラジルのお話」(1回) 参加人数: 女性23人 男性2人	1	3	1	1	1	今後も引き続き、講座を実施する。	2	人権・男女参画室

No	事業
50	男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座の修了生や男女共同参画センター登録団体が、地域活動で活躍している状況等を通して、女性リーダーを発掘し、審議会委員等として活躍してもらえるように働きかけます。 ◆審議会等の市民委員への応募の働きかけ

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
		(1)	(2)	(3)				
モアいずみ(男女共同参画センター)で開催されるネットワーク会議等で男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座の修了生やモアいずみ(男女共同参画センター)登録団体に対し、随時審議会市民公募委員等に応募するよう働きかけを行った。	1	3	1	1	1	引き続き、働きかけを行う。	2	人権・男女参画室

施策の方向(7) 男女共同参画で進める就労支援

施策⑭ 男女が共に働きやすい職場づくりのための支援

No	事業
51	男女共同参画推進事業者等事業助成制度を利用した事業者の紹介をします。 ◆事業者の事例紹介

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
		(1)	(2)	(3)				
市ホームページ及びモアいずみ通信(平成28年6月号)にて事例紹介を行った。 (平成27年度事業実施事業者) 事業者: 社会福祉法人日本ヘレンケラー財団 太平 研修名: 職場におけるハラスメント問題の基本的理解と防止に向けて 開催日: 平成28年1月22日	1	1	1	1	1	事例については、積極的に発信するとともに、助成制度の周知も行う。	2	人権・男女参画室

No	事業
52	市の「男女共同参画推進事業者等事業助成制度」や国の「両立支援等助成金」の周知を積極的に行います。本市の事業助成について、推進事業のための支援をします。 ◆男女共同参画推進事業者等事業者助成制度の周知

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
平成27年度男女共同参画推進事業者等事業者助成制度実施について、企業人権協議会、商工会議所、テクノステージ和泉まちづくり協議会、医師会、公共施設等へのチラシの配架、広報いずみ(平成27年6月号)、モアいずみ通信(平成27年6月号)、市ホームページ掲載、及び、平成27年7月3日開催の企業人権協議会における事業説明等、制度についての周知を行った。	1	3	2	1	1	引き続き、男女共同参画推進事業者等事業者助成制度の周知に努める。	2	人権・男女参画室

No	事業
53	男女雇用機会均等法や労働基準法、育児・介護休業法等、労働に関する法律や制度に関する情報の周知を図ります。 ◆法律や制度に関する情報の周知 ◆事業者への積極的な情報提供

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
毎月第1日曜日及び第2金曜日に社会保険労務士による労働相談を実施し、セクハラ・パワハラ等の労使間問題の解決に寄与。	2	3	1	1	1	セクハラ・パワハラ問題、男女雇用均等問題などの問題解決に向け、どのような言動が問題を招くかの周知をより一層実施していく必要がある。	2	商工労働室
事業者に対する国・府からの情報については、商工労働室と共有し、情報を発信した。 また、市ホームページにて、大阪労働局および大阪ハローワークのウェブサイトのリンク設定を行い、事業者等が市ホームページからあらゆる情報を取得できる環境を整備した。	1	2	1	1	1	情報収集に努め、収集した情報は積極的に発信する。	2	人権・男女参画室

No	事業
54	男女雇用機会均等法の定着を図る中で、企業・団体等においてセクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント等防止の研修の重要性を働きかけます。 ◆セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント等防止研修会の実施 ◆男女共同参画推進事業者等事業助成制度の周知

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
平成27年7月1日に開催した和泉市企業人権協議会総会において、男女共同参画推進の啓発を行うとともに、大阪企業人権協議会より講師を招き、事業所内でのセクハラ・パワハラ問題についての研修会を実施。	2	3	1	1	1	会員企業をはじめとした和泉市内の企業に対し、相談窓口の設置や研修の実施を呼びかける必要がある。	2	商工労働室
男女共同参画推進事業者等事業助成制度について説明する際に、事業者に対しセクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント等防止の重要性について説明し、申請を促す。 また、商工労働室労働政策担当が開催する、協議会等があるときは、企業に向けて、セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント等防止について働きかけてもらうよう依頼を行った。	1	3	2	1	1	引き続き、商工労働室と連携し企業等に働きかけを行う。	2	人権・男女参画室

No	事業
55	男女の均等な雇用の機会と待遇確保が実現されるよう「男女雇用機会均等月間」等の周知に努めます。 ◆「男女雇用機会均等月間」等の周知 ◆男女雇用機会均等月間」等についての周知

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
平成27年7月1日に実施した和泉市企業人権協議会総会や、その他研修等において周知を図った。	2	2	2	1	2	「男女雇用機会均等月間」について、企業への周知が徹底されているとはいえず、今後より周知を行っていく必要がある。	1	商工労働室
男女雇用機会均等月間については、商工労働室と双方から情報を発信した。 また、モアいずみ通信(144号)にて男女雇用機会均等月間および、男女雇用機会均等法について掲載し、周知を図った。	1	1	2	1	1	引き続き、連携しながら情報を発信する。	2	人権・男女参画室

No	事業
56	<p>様々な媒体を通じて、仕事と育児・介護の両立支援制度や女性の管理職を増やすポジティブ・アクション(積極的改善措置)等、女性の就労継続のための情報を提供します。</p> <p>◆女性の就労継続のための情報提供</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
<p>・再就職チャレンジ支援講座 「働きたいあなたに贈るアドバイス ママの就活応援塾！」(3回)</p> <p>①5/21 始めの一步 準備編 参加人数7人 ②5/28 わたしの働き方 情報・活用編 参加人数6人 ③6/11 いざ、就活！ 応募書類準備編 参加人数7人</p>	1	3	1	1	1	今後も引き続き、情報提供や講座の実施に取り組み、再就職を支援する。	1	人権・男女参画室

施策② 女性の就労支援

No	事業
57	<p>出産等で離職した女性や起業等をめざす女性を支援するため、講座や能力開発のための講習等を実施します。</p> <p>◆若者支援セミナー・職業能力開発事業 ◆再就職チャレンジ支援講座の実施</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
<p>介護職員初任者研修等の講習会では18名の女性に参加いただき、「女性の起業セミナー」をはじめとした若者支援セミナーでは65名の女性に参加いただいた。これにより再就職を目指す女性を支援することが出来た。</p>	1	1	1	1	1	今後一層これらを周知し、よりニーズにあった講習会・セミナーを開催していく必要がある。	1	商工労働室
<p>・再就職チャレンジ支援講座 「働きたいあなたに贈るアドバイス ママの就活応援塾！」(3回)</p> <p>①5/21 始めの一步 準備編 参加人数7人 ②5/28 わたしの働き方 情報・活用編 参加人数6人 ③6/11 いざ、就活！ 応募書類準備編 参加人数7人</p>	1	3	1	1	1	今後も引き続き、情報提供や講座の実施に取り組み、再就職を支援する。	1	人権・男女参画室

No	事業
58	和泉市無料職業紹介センターにおける女性に対する職業紹介や相談、情報提供を充実します。 ◆和泉市無料職業紹介センター事業

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
様々なニーズに対応した相談や職業紹介を行うことで、平成27年度は目標値を大きく上回ることが出来た。 無料職業紹介センターからの紹介による就職者 80人(内女性 47人)	2	3	1	2	1	一部の職への偏見(男性向きもしくは女性向き等)を持つ相談者もいることから、これらの偏見をなくすよう努めると同時に、女性でも活躍できる職であることを周知していく必要がある。	1	商工労働室

No	事業
59	ハローワークとの連携を図り、職業相談、紹介の情報提供を積極的に行います。 ◆就職情報フェア事業

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
平成27年9月9日と平成28年2月10日に開催し、合計360名の方に参加していただき、うち36名(10%)については、本合同面接会にて就職することができ、一定の成果を上げることができた。	2	3	2	1	1	平成28年4月に施行された女性活躍推進法に基づき、企業へは女性の登用、求職者については、積極的な求職活動を促していく必要がある。	1	商工労働室

No	事業
60	起業しようとしている市民に対して、セミナーや相談窓口の情報の周知を図ります。 ◆若者支援セミナー ◆和泉市産業振興プラザ事業の情報提供・セミナーの実施 ◆セミナーや相談窓口の情報提供

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
平成27年度は若者支援セミナーを10回開催し、新たに「女性の起業セミナー」として、主に女性をターゲットとしたセミナーを開催し、24名の女性に参加いただいた。	1	1	1	1	1	クラウドソーシングを用いた働き方などの新たな分野について調査し、セミナーを開催していく必要がある。	1	商工労働室

年間を通し、和泉市産業振興プラザにて自営業等に従事する市民に対し、販路開拓支援、支援事業等の紹介、補助金申請相談、技術相談、情報収集、その他相談等の実施、各種セミナーの開催	1	3	1	1	1	男女を問わず、自営業等に従事する市民に対し、だれでも相談できるように事業を行っており、今後も引き続き支援に努めていく。	2	商工労働室
平成27年4月1日から平成28年3月31日 相談等の総件数 743件 平成27年7月1日から平成28年3月31日 相談等の総件数 554件 うち女性を含んだ件数124件								
モアいずみ(男女共同参画センター)で実施する再就職チャレンジ支援講座等の受講生に対して、商工労働室のセミナーの情報を提供し、モアいずみが開催する再就職チャレンジ支援講座を商工労働室へ情報を提供する。	1	3	1	1	1	今後も引き続き、情報提供に取り組む。	2	人権・男女参画室

No	事業
61	<p>自営業等に従事する市民を対象に相談・指導、場所の提供等の情報提供を行います。</p> <p>◆和泉市産業振興プラザ事業の情報提供・セミナーの実施(Ⅱ-7-20-60再掲)</p> <p>◆女性就労のため相談・指導・情報提供</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
年間を通し、和泉市産業振興プラザにて自営業等に従事する市民に対し、販路開拓支援、支援事業等の紹介、補助金申請相談、技術相談、情報収集、その他相談等の実施(Ⅱ-7-20-60再掲)	1	3	1	1	1	男女を問わず、自営業等に従事する市民に対し、だれでも相談できるように事業を行っており、今後も引き続き支援に努めていく。	2	商工労働室
平成27年4月1日から平成28年3月31日 相談等の総件数 743件 平成27年7月1日から平成28年3月31日 相談等の総件数 554件 うち女性を含んだ件数124件								
相談の際に、配慮をしながらの相談等の対応を想定していたが、実際の相談は無かった。	4	3	3	2	1	今後も、引き続き対応が必要となる場合は配慮しながら行う。	2	農林課

No	事業
62	<p>農業の重要な担い手として、農業女性の資質の向上を図るため、農業女性活動組織の育成・支援を行います。</p> <p>◆農業経営担い手育成事業</p> <p>◆和泉ファームステイ</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
事業案内のホームページに女性が作業している写真を掲載するなど、より女性が参加しやすいように配慮した。	2	3	3	2	2	今後も募集の際にはより女性が参加しやすい雰囲気となるよう配慮しながら実施していく。	2	農林課
1 農業経営担い手育成新規就農研修 参加者3名(男3女0) 2 和泉農業担い手塾 参加者11名(男8女3)								

<p>援農ボランティアの募集に関して、ホームページ・ポスター等に女性が作業を行う様子の写真を使い、より女性が参加しやすいよう配慮した。 女性が作業しやすいと思われる園地に振り分けるなどの配慮を行った。 参加者総数 5名(男性 3名、女性2名)</p>	2	2	3	2	2	<p>事業実施にあたって、より女性が援農活動に従事しやすいよう配慮した。</p>	2	農林課
---	---	---	---	---	---	--	---	-----

No	事業
63	<p>高齢者に対する経済的自立に向けた就労の機会の拡大と、雇用の安定を企業等に働きかけます。 ◆求人開拓事業 ◆シルバー人材センター運営補助事業の実施</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持	4.進まなかった	(1)	(2)			
<p>本事業については和泉商工会議所へ委託し、高齢者及び女性向けの求人情報を収集し就職に結びつけることが出来た。 また、女性活躍推進法について和泉商工会議所の会報へのチラシの挿込みや、広報いずみでの周知を実施。</p>	2	3	2	2	2	2	<p>近年は元気な高齢者、再就職をめざす女性が増加していることから、これらを考慮し求人情報を収集していく必要がある。</p>	1	商工労働室	
<p>補助金というかたちで間接的にシルバー人材センターの活動の支援を行った。また老人クラブなどの高齢者が集う集まりで、シルバー人材センターの紹介などを行った。</p>	2	2	2	2	2	2	<p>もっと積極的に働きかけを行う必要がある。</p>	2	高齢介護室	

施策の方向(8) 男女共同参画で進める地域づくり

施策① 性別・年齢に関わりなく、すべての人が担う地域活動のための支援

No	事業
64	<p>若者、働き盛り世代、定年を迎えた世代等が地域活動に参加するきっかけをつかめるよう、学習や交流の場の充実を図るとともに、情報提供を工夫します。 ◆和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業 ◆成人教室の内容の充実と情報提供の工夫</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持	4.進まなかった	(1)	(2)			
<p>ボランティア団体やNPO法人といった市民活動団体が行う事業に対して、市民のみなさんが支援したいこれらの事業を行う団体を選択し、市へ届出をすることにより、その選択届出数に応じて市がその市民活動団体の実施する事業へ支援金を交付する。平成27年度は38団体。投票率14.5%</p>	2	3	3	1	1	1	<p>27年度は、38団体に対して、投票率14.5%であった。今後も、男女問わず、施策決定に関与することができるように努めるとともに、より多くの市民のみなさまに投票してもらえるように努力する。</p>	2	公民協働推進室	
<p>広報いずみやホームページでの紹介のみならず、各種講座開催の際に、情報の提供を行った。</p>	2	3	2	2	2	2	<p>今後も引き続き、情報提供を行う。</p>	2	生涯学習課	

No	事業
65	<p>男女が共に担う地域活動に関する支援制度の強化、充実を図ります。</p> <p>◆和泉ボランティア・市民活動センター、アイ・あいロビー 管理運営事業</p> <p>◆男女共同参画推進事業(オアシス)助成金事業の実施</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
<p>アイ・あいロビー教室 毎月第3土曜日開催【前期5回 参加者87名】</p> <p>普通救命講習会 毎月第1日曜日開催【前期6回 参加者36名】</p> <p>夏休み親子ふれあいキャンプ 平成27年8月1日開催 参加者90名(女46名・男44名) 定員:親子30組</p> <p>夏休み親子福祉体験講座 平成28年8月20日開催 参加者9名(女7名・男2名) 定員:親子15組</p> <p>ボランティア・市民活動交流サロン 平成27年7月・平成28年1月開催 参加者計178名(女134名・男44名) 定員180名</p> <p>ボランティア・市民活動入門講座 平成27年9月9日開催 参加者55名(女39名・男16名) 定員50名</p> <p>他、ボランティア・市民活動フェスティバルイベント 参加者400名を開催。</p>	2	2	3	1	1	交流会等を複数回実施して、目標値を超える参加者を得た。今後も、男女参画社会の実現に寄与するための施策を実施する。	3	公民協働推進室
<p>(平成27年度男女共同参画推進事業(オアシス)助成金交付団体)</p> <p>①親子で考えよう! 自分にできる防災・減災! : グループワーキング“はじめのいっぽ”</p> <p>②ママパパ、家庭でできるフランス料理に初挑戦! : ローズウッド</p> <p>③アンネのバラ園で平和を学ぶ : 和泉母親連絡会</p> <p>④「ちゃんと知っておこう♪自分の心と体の性のこと」</p> <p>「ちゃんと学んでおこう♪子どもの心と体と性のこと」 : NPO法人和泉100人委員会</p> <p>⑤男性のための土鍋を使った自己完結型料理 : いずみヒューマンネット</p>	1	3	1	1	1	今後も引き続き、助成金事業の実施に取り組む。	2	人権・男女参画室

No	事業
66	<p>PTA、子ども会、自治会、地域ボランティア等の活動に、男女が共に参加・参画できるよう啓発します。</p> <p>◆和泉ボランティア・市民活動センター、アイ・あいロビー 管理運営事業</p> <p>◆和泉市PTA協議会・子ども会育成連絡協議会への情報提供</p> <p>◆和泉市地域福祉推進事業</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
<p>ボランティア登録数89人(女性51人:男性38人)平成28年3月31日現在。</p>	2	2	3	1	1	平成28年3月31日現在、男女比率は42.7%となっており、今後も目標値に向け取り組む。	2	公民協働推進室
<p>女と男のフォーラム等、イベント情報を積極的に情報提供した(再掲I-4-8-24)</p>	2	3	2	2	2	今後も引き続き、情報提供を行う。	2	生涯学習課

<p>【協議の場の開催実績】 緑ヶ丘校区(7回、延べ参加者数87名)、光明台南校区(4回、延べ参加者数65名)、光明台北(2回、延べ参加者数27名)、南池田校区(2回、延べ参加者数29名)、北池田校区(1回、延べ参加者数14名)、鶴山台北校区(4回、延べ参加者数80名)、芦部校区(1回、延べ参加者36名)、信太校区(2回、延べ参加者63名)、鶴山台南校区(2回、延べ参加者6名)、いぶき野校区(1回、延べ参加者19名)</p> <p>【協議の場をきっかけした活動】 信太校区(認知症徘徊模擬訓練の実施)、光明台南(認知症サポーター養成講座、カフェサロン)、鶴山台北(高齢者サポートセンター準備委員会の発足)</p>	3	3	3	2	2	協議の場に参加していただいているメンバーは校区社会福祉協議会会長、町会長、民生委員、その他ボランティアを選出しているため、地域状況によって、男女に偏りがでる可能性がある。	2	福祉総務課
--	---	---	---	---	---	---	---	-------

施策② 男女共同参画の視点に立った防災体制の整備

No	事業
67	<p>子育て中の家族、高齢者、障がいのある人、在住外国人等様ざまな人々のニーズの違いを反映した防災・災害復興対策を推進するために、自主防災組織や町会・自治会等に女性の参画を促進します。</p> <p>◆市民防災啓発事業</p>

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
平成27年度 11件(男女共同)・440名(約男250名・女190名)	1	2	1	1	1	目標値に到達しなかったため、防災啓発強化に引き続き努める。	2	公民協働推進室

No	事業
68	<p>災害・復興時の自助・共助や地域コミュニティが、重要であるという観点に立った啓発を行います。</p> <p>◆市民防災啓発事業</p> <p>◆男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座の実施</p>

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
平成27年度 11件(男女共同)・440名(約男250名・女190名) (Ⅱ-8-22-67再掲)	1	2	1	1	1	目標値に到達しなかったため、防災啓発強化に引き続き努める。	2	公民協働推進室
<p>男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座 9月10日～11月12日まで(全9回)</p> <p>10月8日午前の部 「できる？ 今日からできる災害への備え」 午後の部 「災害時に生きる力」 申込人数:21人 参加者数:18人 修了証10人</p> <p>※9回連続の講座数を午前・午後で数えるため18講座となる。 ※修了証を取得するには、15講座以上の出席が必要。</p>	1	3	1	1	1	今後も引き続き、講座の実施に取り組む。	2	人権・男女参画室

No	事業
69	<p>地域における防災リーダーとして、女性消防クラブ等の充実を図ります。</p> <p>◆和泉市女性消防クラブ連合会視察研修会</p> <p>◆和泉市ブロック別防災訓練</p> <p>◆市民防災育成事業</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映しただけしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
 - (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 - (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 - (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
株式会社モリタ三田工場において172名のクラブ員が視察研修を実施、防災・減災の知識の高揚を図ると共に、クラブ員相互の交流、意見交換を行うことにより、地域防災の向上を図ることができた。	2	3	1	1	1	研修での防災・減災の知識の高揚を図ると共に、クラブ員相互の交流、意見交換の時間を設けることにより、地域防災の向上を図ることができた。	2	消防予防課
各校区において実施された防災訓練において、非常炊き出し訓練や応急処置訓練等に650名が参加し、防災意識の向上を図る。	2	3	1	1	1	今後も実施する。	2	消防予防課
<p>地域防災リーダー養成講座の開催にあたり、女性参加を推進したことにより、防災リーダー認定者46名のうち、女性が21名(45.6%)を占めた。講座内においては、防災・減災施策を推進するうえにおいて、例えば、避難所運営の場面においてはその責任者の中に女性の参画が必要であることについて、過去の災害事例を踏まえて講義を行った。また、グループワーク時には、一つのテーブルに男女が混合するようにし、性別による気付きを共有できるように工夫を施した。</p> <p>【防災リーダー認定者数】 平成26年度 認定者数 50名(男性38名、女性12名) 女性の割合24% 平成27年度 認定者数 46名(男性25名、女性21名) 女性の割合45.6%</p>	1	1	1	1	1	地域における防災・減災施策を推進するうえでは、女性の参画が欠かせない。このため、講座受講者における女性の割合を増やすために、一般的な広報を行うのみならず、女性消防クラブ員に働きかけを行うなど、女性の参画を積極的に推進した。	2	公民協働推進室

No	事業
70	<p>男女共同参画の視点を取り入れた、防災計画や防災マニュアルの策定に努めます。</p> <p>◆地域防災計画事業</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映しただけしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
 - (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 - (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 - (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
和泉市災害時避難所開設・運営マニュアル(平成27年4月)の改訂にあたり、東日本大震災の経験を踏まえ、避難所運営における被害軽減を図るため、避難所運営組織の役員には女性を3割以上占めること、役割分担は性別や年齢によって固定化しないこと、男女のニーズの違いを列挙したこと、女性に配慮した避難スペースを確保することなどを盛り込んだ。	1	1	3	1	2	和泉市災害時避難所開設・運営マニュアルについては、町会・自治会等に対して周知・啓発を行うことが必要である。自主防災組織を結成している町会・自治会を対象に、避難所運営に関する研修会を開催するなどし、周知啓発を行って行く。	2	公民協働推進室

施策⑫ 高齢者、障がい者、外国人等が安心して暮らせるまちづくり

No	事業
71	<p>ひとり暮らしの高齢者に対し、生活支援をするとともに、社会的孤立を防ぎ、地域社会との交流を深めるための生きがいづくりを推進します。</p> <p>◆街かどデイハウス ◆ふれあい食事サービス助成事業 ◆老人クラブ活動補助事業</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持	4.進まなかった	(1)	(2)			
65歳以上で要支援・要介護の認定を受けていない方や未申請の方が利用でき、介護予防活動やレクリエーションを通じて、住民同士の交流が図れた。	2	2	2	2	2	2	2	街かどデイハウスの利用人数の減少が見られるため、地域住民の交流の場として幅広く周知啓発を行う必要がある。	2	高齢介護室
地域の集会所等を利用して高齢者に対して食事サービスを提供するボランティア団体に、参加者一人一日当たり500円の助成金を交付し、市民の積極的な社会福祉活動を促し、高齢者の生きがい対策を推進した。平成27年度においては、信太校区、北松尾校区、緑ヶ丘校区、伯太校区において実施。 延べ利用人数 1,788人、延べ実施回数 66回	2	3	3	2	2	2	2	ボランティア団体の辞退等があり、参加者数は目標値には及ばなかったが、地域には確実に活動が根付いている。食事をツールとして、高齢者の健康チェックや体操、幼稚園児との交流など様々な介護予防にも努めており、高齢者の生きがいづくりに役立っている。	2	高齢介護室
老人クラブ活動の活発化を図り高齢者福祉の増進につなげた。社会福祉・地域福祉の増進を図るため助成を行った。老人クラブがあることで高齢者同士の親睦や助け合い等地域での自立生活の励みとなった。老人クラブ連合会の発展の励みとなった。	1	1	1	1	1	1	1	もともと女性が積極的に参加している老人クラブだが、役員にも女性が入り、ますます女性の活躍が見込まれる。引き継ぎ活動指標である会員数の増加を目指す。	2	高齢介護室

No	事業
72	<p>利用できる福祉サービスや地域の社会資源のネットワークを市民が活用できるよう、あらゆる機会を通じて市民に情報提供を行います。</p> <p>◆地域包括支援センターの実施 ◆和泉市障がい者基幹相談支援センター等での情報提供 ◆和泉市地域福祉総合相談員配置促進事業</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持	4.進まなかった	(1)	(2)			
地域包括センターと共にあらゆる支援が必要な高齢者に対して総合相談を実施して、ニーズに応じてサービスの提供やサービスにつなげる支援を行った。 総合相談件数(延) 3,902件	2	1	2	2	2	2	2	今後高齢者が増加していくので、行政として地域包括支援センターへのさらなるバックアップが必要になる。	2	高齢介護室

<p>利用できる福祉サービスや地域の社会資源について、基幹相談支援センター及び委託相談支援事業所において情報提供を行った。情報提供の内容としては、福祉サービス等の制度・日中活動系の事業所や居宅介護事業所の情報等多岐に渡る。基幹相談支援センター(1か所)及び委託相談支援事業所(3か所)の合計年間相談件数は、8,909件(延べ)、うち福祉サービスの利用等に関する支援が4,853件(延べ)となっている。</p>	2	3	3	1	1	<p>平成27年度は委託相談支援事業所が市内3か所で相談支援を行ったが、平成28年度は4か所になる見込み。今後も相談支援体制の充実に努める。</p>	1	障がい福祉課
<p>市内8か所に計9名の相談員は配置し、年齢、障がいの有無に関わらず相談対応を行った。相談者数870名(平成28年3月末)相談者の性別について、相談受付の際に相談者の基礎情報として確認している。</p>	2	1	2	2	2	<p>事業の認知度を高めるため、28年度は全戸配布のチラシで積極的に広報する。</p>	2	福祉総務課

No	事業
73	<p>高齢者、障がいのある人、子どもが安心して暮らせるよう、バリアフリーのまちづくりを推進します。</p> <p>◆市営住宅建替事業 ◆新規事業、改修時における公園施設(園路、トイレ等)のバリアフリー化 ◆交通安全施設整備事業</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと持ち取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課	
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持					4.進まなかった
<p>唐国住宅建替事業については、平成27年5月に木造住宅6ヶ所について住民説明会を行い、6月と7月に黒鳥第二住宅の見学会を行った。また、8月に唐国住宅建替設計業務を委託。11月に木造住宅6ヶ所の住民を対象に、建替事業の進捗状況の説明会を開催。平成28年1月には唐国住宅近隣住民を対象に建替基本設計の状況について説明会を行った。幸・王子地区については、まちづくり協議会が近畿大学の先生に委託をし、幸・王子地区の住民に建替に関しての勉強会を行った。</p>	1	1	1	1	1	<p>唐国住宅建替事業については、住民説明及び見学会等を本事業についての周知を行い、アンケート等により、住民の要望を確認することができた。今後は、住民の要望を踏まえたうえで本事業を進めていくことを検討している。また、幸・王子地区については、勉強会を今後も続けていく予定である。</p>	1. 強化・改善 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	2	建築住宅課
<p>平成27年度事業実施なし。</p>	4	4	3	3	3			2	公園緑地課
<p>当初予算では、整備に向けた詳細設計を実施する予定でしたが、国の交付金の内示割れにより、今年度の事業を見送った。</p>	4	4	3	3	3	<p>平成32年度までにバリアフリー化の整備をする必要があるため、財源確保に取り組み、事業推進を行う。</p>		2	道路河川室

No	事業
74	日本語学習が外国人にとって地域社会で生きていくための基盤となるよう、教室活動そのものが日常生活における対等な人間関係や地域でのネットワークの構築につながっていくよう、「日本語サロン」(和泉市国際交流協会)と連携します。 ◆日本語サロン

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
日本語サロンについて広報紙、ホームページに加え、公共施設でのポスター掲示や、学校・園、保育園等を通じてチラシの配付を行った。 月4回実施 フューール和泉:木曜日 午後7時～午後8時30分 和泉シティプラザ:金曜日 午後1時～午後2時30分	2	1	3 2	2	運営方法を工夫し、参加者増にも対応できるように努める。	2 人権・男女参画室

No	事業
75	内閣府「定住外国人施策ポータルサイト」等の情報提供を積極的に進めます。

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
外国人が日本で生活するうえで必要となる情報を得られるよう、ホームページに「外国人情報コーナー」を開設。「内閣府 定住外国人施策ポータルサイト」や「大阪府外国人情報コーナー」等について紹介し、多言語による情報提供を行った。 また、外国人の日本語学習をサポートする日本語サロンにおいて、行政・生活情報について適宜提供した。	2	1	3 2	2	引き続き、情報提供の充実と周知に努める。	2 人権・男女参画室

基本目標Ⅲ 自立を支えあうまちをつくる 施策の方向 9 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)実現のための支援

施策⑳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)という考え方の推進

No	事業
76	市民や事業者に向けてワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の意義や働き方を見直す必要性等についての情報提供を行います。 ◆和泉市企業人権協議会等への情報提供 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施 ◆広報紙、ホームページ、モアいずみ通信での情報提供 ◆男女共同参画推進事業者等事業者助成制度の情報提供

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
和泉市企業人権協議会が実施する事業等で、ワーク・ライフ・バランスの情報提供を行うとともに、会員企業に対して、様々な研修会の参加を呼びかけた。	2	3	2 1 1	1	ワークライフバランスについて関心の低い企業等に対して、より積極的に周知していく必要がある。	1 商工労働室

男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座(全9回)において 7回目:10月29日(木)開催 午前:「ワーク・ライフ・バランス～充実ライフ♪どう生きる?～」 参加者:24人 午後:「ワーク・ライフ・バランス～充実ライフ♪実践編～」 参加者:19人	1	3	1	1	1	今後も引き続き、講座の実施に取り組み啓発する。	2	人権・男女参画室
モアいずみ(男女共同参画センター)の図書コーナーにあるチラシ棚に、大阪府や各自自治体のチラシを配架し、情報提供を行った。	1	3	1	1	1	今後も引き続き、情報を収集し、情報提供に取り組む。	2	人権・男女参画室
平成27年度男女共同参画推進事業者等事業者助成制度実施について、企業人権協議会、商工会議所、テクノステージ和泉まちづくり協議会、医師会、公共施設等へのチラシの配架、広報いづみ(平成27年6月号)、モアいずみ通信(平成27年6月号)、市ホームページ掲載、及び、平成27年7月3日開催の企業人権協議会における事業説明等、制度についての周知を行った。(Ⅲ-7-19-52 再掲)	1	3	2	1	1	引き続き、事業者に向けて男女共同参画施策推進を図るため、助成制度についての周知を図る。	2	人権・男女参画室

No	事業
77	<p>男性向けに働き方見直しセミナーを実施します。</p> <p>◆男女共同参画社会づくり講座の実施</p> <p>◆男性学講座の実施</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
子どもサイエンス・キャンパス 「パパ、ママと実験はじめよう!～空気でスイスイUFOホバークラフト～」 日時:10月17日(土) 定員:15組 参加:15組(大人17人 子ども18人)	1	2	1	1	1	今後も引き続き、講座の実施に取り組む。	2	人権・男女参画室
男性学講座 「意識改革でハッピーライフ～人生を充実させるために～」 開催:平成28年1月24日(日) 参加人数:48人(男性18人 女性30人)	1	3	1	1	1	今後も引き続き、講座の実施に取り組む。	2	人権・男女参画室

施策② 男性も女性も、仕事と子育てや介護の両立ができる環境の整備

No	事業
78	<p>次世代育成支援対策推進法に基づく、事業者としての行動計画策定を支援します。</p> <p>◆次世代育成支援対策推進法における事業所行動計画策定にかかる助言</p> <p>◆男女共同参画推進事業者等事業者助成制度の実施</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
平成27年3月に「和泉市こども・子育て応援プラン」が策定され、相談があれば受け入れる体制はとっていたが、相談はなかった。	2	3	2	2	2	今後引き続き相談体制の充実を図る。	2	こども未来室

平成27年度については、行動計画策定を策定するにあたり、男女共同参画推進事業者等事業助成制度を利用した事業者の申請は0件だった。	4	4	2	1	1	助成制度の周知を行っているが、申請までに至らない現状となっているが、今後も引き続き、助成制度の周知を行う。	2	人権・男女参画室
--	---	---	---	---	---	---	---	----------

No	事業
79	<p>「和泉市子ども・子育て応援プラン」に基づいて、妊娠・出産・子育て期における継続就業に向けた子育て支援の充実をめざします。</p> <p>◆一時預かり、障がい児保育、延長保育、休日保育、夜間保育、病後児保育事業</p> <p>◆母子健康手帳交付、乳幼児健康診査</p> <p>◆留守家庭児童会の充実</p>

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
【H27実施箇所数】 一時預かり13か所、障がい児保育25か所、延長保育28か所、休日保育1か所、夜間保育1か所、病後児保育事業1か所 合計69か所	1	2	3	1	1	平成27年度定員150名の民間保育所の開園、私立幼稚園の認定こども園への移行により、一時預かりや延長保育を実施する施設が増加した。	1	子ども未来室
母子健康手帳発行数1,381人。発行時、育児休業給付金や働きながら母親になる人向けのパンフレット配布。 4か月健康診査受診者数1,391人(受診率95.7%) 1歳6か月児健康診査受診者数1,464人(受診率95.8%) 3歳6か月児健康診査受診者数1,571人(受診率90.0%) 健診時、育児の協力状況などを確認し、必要時、保育園申請や育児支援サービスなどの情報提供を実施。	2	3	1	1	1	子育て支援の充実を図るため、今後も事業を活用し情報提供や相談を継続実施する。	2	健康づくり推進室
保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校の児童に対して、適切な遊び場などを提供するため市内19校で実施し、各校の留守家庭児童会の充実を図っている。 (平成27年5月1日現在の留守家庭児童会の在籍児童数について) 1年生 638人 2年生 498人 3年生 329人 計 1,465人	2	2	3	1	1	平成27年の夏季休暇時より、小学校低学年児童に加えて高学年児童の受け入れを行った。	2	生涯学習課

No	事業
80	<p>事業者や男性労働者に対して、男性の育児・介護休業の取得促進に向け情報提供及び支援を行います。</p> <p>◆男性の育児・介護休業の取得促進に向けた情報提供</p> <p>◆男女共同参画推進事業者等事業助成制度の実施</p>

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
和泉市企業人権協議会が実施する事業等で、男性の育児・介護休業の取得促進に対する情報提供を実施するとともに、各種リーフレットを商工労働室前に置くことで周知を図った。	2	3	2	1	1	男性の育児休暇取得に対する関心が低い企業等に対して、より積極的に周知していく必要がある。	1	商工労働室

平成27年度については、男性の育児・介護休業の取得促進に向けて制度改正をするにあたり、男女共同参画推進事業者等事業助成制度を利用した事業者の申請は0件だった。	4	4	2	1	1	助成制度の周知を行っているが、申請までに至らない現状となっているが、今後も引き続き、助成制度の周知を行う。	2	人権・男女参画室
---	---	---	---	---	---	---	---	----------

No	事業
81	<p>男性が父親としての自覚を持ち、積極的に子育てに関われるよう、知識や技術を習得することを支援します。</p> <p>◆男女共同参画社会づくり講座の実施 ◆半日保育参加の呼びかけ</p>

【今年度の事業の実施度】
 1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
 2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
 4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
 (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
<p>パパ・ママのための子育て応援講座 「パパとつくる、ミートローフでクリスマスリース」 開催日:12月19日(土) 午前・午後 (2回) 定員:各12組 参加人数 ①午前の部:9組(26人) 女性14人(大人5人 子ども9人) 男性12人(大人9人 子ども3人) ②午後の部:9組(29人) 女性14人(大人7人 子ども7人) 男性15人(大人7人 子ども8人)</p>	1	3	1	1	1	今後も引き続き、講座の実施に取り組む。	2	人権・男女参画室
<p>・半日保育参加への呼びかけを実施した。半日保育参加では、半日を保育士となって過ごしてもらうので、保育参加をとおして子育ての楽しさを体験してもらうことができた。 また、送迎時は、父親へも積極的に子どもの様子や子育てについての話をし、子育てを保育園と共有できるようにしている。</p>	1	3	1	1	1	半日保育参加の参加者は、多くはないので、参加しやすい企画の検討も必要。	2	こども未来室

No	事業
82	<p>男性が、主体的に家族介護の担い手となれるよう、知識や技術を習得することを支援します。</p> <p>◆入退院支援家族教室</p>

【今年度の事業の実施度】
 1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
 2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
 4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
 (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
<p>市内急性期医療機関3カ所にて「患者・家族が知っておきたい急性期病院の仕組みや入院から退院までの流れについて」及び「入院によって体の状態が変化しても在宅で療養を支える仕組みについて」をテーマに各々急性期医療機関の職員と訪問看護師より講演会を実施した。 参加者数:男性14名、女性47名、計61名 ※平成27年度より在宅医療・介護連携推進事業に統合。</p>	2	2	3	3	1	急性期医療機関での実施は初の試みであり、市内急性期医療機関4病院中、3病院で実施し、医療機関との連携のきっかけにもなった。しかし、感染症等のリスクがあり、今後開催場所、周知方法等再検討が必要。	3	高齢介護室

No	事業
83	特定事業主行動計画に基づき推進します。 ◆職員が子育てや介護しやすい勤務環境を整備する

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
男性職員も育児休暇が取得可能であることやワークライフバランスの確保の必要性を周知し、取得しやすい環境づくりを行いました。子育てをする女性職員が管理職になるにあたり、必要なマネジメント能力等を付与するための研修を実施しました。 育児休暇取得対象者 24名 うち取得者 1名(4.2%)	2	3	1	1	1	男性職員も育児休暇が取得可能であることやワークライフバランスの確保の必要性を周知し、取得しやすい環境づくりを行ったことにより、実際に男性職員が育児休暇を取得した。	2	人事課

施策の方向10 自立した暮らしのための支援

施策⑤ ひとり親家庭への支援

No	事業
84	ひとり親家庭が抱える、様々な悩みや問題を解消するための相談体制を充実します。 ◆母子・父子自立支援員による相談業務

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
ひとり親家庭の母や父、及び今後離婚を考えている方の悩みや問題を解消するために、電話、来所による相談業務を行った。 離婚後相談(母) 255件【内訳:経済的支援135件、家庭内の揉め事37件、就労について80件、母子生活支援施設入所に関して3件】 離婚後相談(父) 3件【内訳:就労について1件、経済支援2件】 離婚前相談(母) 70件【内訳:家庭内の揉め事58件、経済支援7件、就労について5件】	2	3	1	1	1	(成果)相談者に寄り添いながら必要な場合は関係機関(くらしサポート、生活福祉、社会福祉協議会、ハローワーク等)につなぐことができた。 (課題)今後、相談件数の増加が見込まれる場合は、より充実した相談体制が必要と思われる。	2	子ども未来室

No	事業
85	ひとり親家庭の経済的基盤を強化し自立できるように、母子家庭自立支援給付金(自立支援教育訓練給付金事業、高等技能訓練促進費事業)の周知を図ります。 ◆ひとり親家庭自立支援給付金事業

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
母子・父子家庭の経済的基盤を強化し自立できるように、母子家庭自立支援給付金(教育訓練給付事業、高等職業訓練促進費等事業)の周知を図った。 高等職業訓練促進給付金の支給 17名(全て母子) 高等職業訓練修了支援金の支給 6名(全て母子)	2	3	1	1	1	(成果)相談業務において、自立支援給付金制度の周知を図れた。	2	子ども未来室

No	事業
86	ハローワーク等と連携し、就労支援を行います。 ◆ひとり親家庭等就労支援事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
母子父子自立相談員を配置し、職業能力の向上及び求職活動に関する支援も行っている。 プログラム策定事業申込者 55人(母子54・父子1) ケース会議 52人(母子51・父子1) プログラム策定事業による就職 31人(母子30・父子1)	2	3	1	1	1	プログラム策定事業による就職へと繋げる	2	こども未来室

No	事業
87	ひとり親家庭に支給される児童扶養手当や、ひとり親家庭に支援される医療費助成の周知を図ります。 ◆児童扶養手当支給事業、ひとり親家庭医療助成事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
ホームページや広報にて周知を行うことができた。	2	3	2	2	2	広報に力を入れて取り組むことができた。	2	こども未来室

施策⑦ 困難を抱える人々が安心して生活できるための支援

No	事業
88	高齢者や障がいのある人に対する、経済的自立に向けた就労の機会の拡大と雇用の安定について事業所に働きかけます。 ◆シルバー人材センター運営補助事業の実施 ◆福祉的就労に向けた訓練等の機会の提供

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
補助金というかたちで間接的にシルバー人材センターの活動の支援を行った。また老人クラブなどの高齢者が集う集まりで、シルバー人材センターの紹介などを行った。	1	1	2	2	2	もっと積極的に働きかけを行う必要がある。	2	高齢介護室
就労継続支援B型や就労移行支援事業所、就労継続支援A型の事業所への通所の決定を行った。 平成27年度末時点で、就労移行支援56名、就労継続支援A型52名、就労継続支援B型369名が受給中。	2	3	3	1	1	今後も引き続き、法に基づいた支給決定を行う。	2	障がい福祉課

No	事業
89	高齢者が要介護状態とならないよう、また、介護予防を図るために、自立した生活を確保するための生活支援サービスの充実を図ります。 ◆介護予防普及啓発事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
自分でできる体操を集団の中で学び、自宅での閉じこもり予防や頭をつかうことによる認知症予防を目的に、要介護状態になることを予防するため介護予防教室(1次予防対象者)を開催した。 参加者数: 男性161名、女性500名、計661名	2	2	1	3	2	介護予防教室の実施において、もう少し男女共同参画の視点をもって取り組みたい。	2	高齢介護室

No	事業
90	支援を必要としている人々が適切に福祉サービス等を利用し、地域での生活が継続できるよう、情報提供や相談等の支援を進めます。 ◆和泉市高齢者福祉サービス ◆成年後見審判市長申立事業 ◆基幹相談支援センター事業の実施 ◆成年後見審判申立事業の実施 ◆日常生活自立支援事業の情報提供 ◆和泉市地域福祉総合相談員配置促進事業 ◆生活困窮者自立支援

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
在宅サービス支援が必要な高齢者に対して、ニーズに応じてサービスの提供やサービスにつなげる支援を行った。 緊急通報装置の貸与: 961人 おむつ代助成: 1,153人 訪問理美容利用者数: 48名	2	3	2	2	2	今後高齢者が増加していくためもっと積極的に働きかけを行い、男女共同参画の視点をもって取り組みたい。	2	高齢介護室
月～金の夕食を週5回まで1食450円で配達している。減塩食・低カロリー食の特別食にも対応していて、現在177名利用されている。	3	2	2	2	2	高齢者が増加していくため介護負担・食の確保についての継続的な取り組みが必要と考える。	2	高齢介護室
65歳以上の高齢者で判断能力が不十分な認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者に対し、財産管理や身上監護について不利益を被らないように申立てを行った。4名	1	3	3	3	1	制度に繋ぐことによって、安心して自立した地域生活を送ることが出来るようになったと考える。今後も民生児童委員や介護事業所等関係機関と連携し、早期に対象者を把握していくことが必要である。	2	高齢介護室

<p>基幹相談支援センター事業及び委託相談支援事業の実施により地域の相談支援体制を推進した。 基幹相談支援センター(1か所)及び委託相談支援事業所(3か所)の合計年間相談件数は、8909件(延べ)。 支援の内容については、福祉サービスの利用等に関する支援が4853件(延べ)と突出して多く、次いで不安の解消・情緒の安定に関する支援が1649件(延べ)、健康・医療に関する支援が918件(延べ)となっています。 また相談方法は電話相談が3819件、関係機関との調整が2368件、訪問が764件となっている。</p>	2	3	3	1	1	<p>今後も基幹相談支援事業所及び委託相談支援事業所の知名度を高め、相談支援事業を推進し、障がいがあっても長く地域で生活できるよう、支援をする。</p>	1	障がい福祉課
<p>判断能力の不十分な知的障がい者・精神障がい者の方で、親族による申し立て等の支援を受けられない方について、家庭裁判所に、市長による成年後見審判の申し立てを行い、障がいがあっても地域での生活が継続できるよう支援します。 平成27年度には申し立てに至ったケースはないが、相談は数件受けており継続支援中。</p>	2	3	3	1	1	<p>今後も引き続き、成年後見制度の必要の人に成年後見審判の申し立てにかかる支援を行う。</p>	2	障がい福祉課
<p>日常生活自立支援事業は、判断能力が不十分な方に対して、日常生活費の管理を行うことで日常生活上の消費契約や福祉サービスの利用援助、行政手続きに関する援助を行う事業(実施主体は社会福祉協議会)であり、本事業について窓口等により情報提供を行った。</p>	2	3	3	1	1	<p>今後も引き続き情報提供を行う。</p>	2	障がい福祉課
<p>市内8か所に計9名の相談員を配置し、年齢、障がいの有無に関わらず相談対応を行った。 相談者数 870名(平成28年3月末)</p>	2	1	1	2	2	<p>事業の認知度を高めるため、28年度は全戸配布のチラシで積極的に広報する。</p>	2	福祉総務課
<p>生活困窮者に対して関係部署や関係機関と連携し、相談支援を実施した。 また、就労支援体制の充実のため、事業者訪問や就労支援セミナーを実施した。 相談件数:334件(男184件、女136件、未確認14件) 自立支援計画策定件数:59件 達成件数:17件</p>	1	1	1	1	1	<p>今後も継続して支援を実施する。実施においては、関係部署や関係機関との連携体制の強化、就労支援体制の充実を図る。連携体制の強化については、生活困窮者自立支援連絡会議や勉強会などを実施する。また、就労支援体制の充実については、事業者・企業との協働による職場見学・職場体験を実施する。</p>	1	福祉総務課

施策の方向11 生涯を通じた心身の健康づくりの支援

施策② 生涯を通じた心身の健康保持・増進

No	事業
91	<p>リプロダクティブ・ヘルス/ライツの考え方に基づいて健康・保健施策が進められるよう、啓発や情報提供を行います。 ◆両親教室(妊婦教室) ◆男女共同参画社会づくり講座の実施</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
 (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
<p>保健師、助産師より妊娠・出産・育児に関するの情報提供を行う。またグループワークや先輩ママとの交流の場をもち、経験談や情報を聴く場をつくった。 受講者数 延240人(夫受講者 延17人)</p>	2	3	1	1	1	<p>妊娠中から出産、育児について考える機会をもち、親の準備性を高め、母子の健全育成を図るため継続し実施していく。</p>	1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	健康づくり推進室

「聞いて実践！わたしの健康、わたしのキレイ」 開催日：3月1日（火）、3月8日（火） 2回 定員：各15人 参加人数 ①13人（女性12人 男性1人）保育：4人②14人（女性13人 男性1人）保育：3人	1	3	1	1	1	今後も引き続き、女性の健康保持に関する講座の実施に取り組む。	2	人権・男女参画室
---	---	---	---	---	---	--------------------------------	---	----------

No	事業							
92	リプロダクティブ・ヘルス／ライツの考え方に基づいた健康保持に関する学習機会を提供します。 ◆両親教室（妊婦教室） ◆男女共同参画社会づくり講座の実施 ◆健康教育におけるリプロダクティブ・ヘルス／ライツの考え方の普及							

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映し出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
保健師、助産師より妊娠・出産・育児に関しての正しい知識や手技等について講話や演習を行う。またグループワークや先輩ママとの交流を通じて親になるための準備をすすめた。（再掲Ⅲ-11-28-91）	2	3	1	1	1	参加者の雰囲気に合わせて、和やかな雰囲気になるように実施する。質問などしやすい雰囲気作りにつとめ、正しい情報提供を行う。今後も母子の健全育成を図るため、継続し実施していく。	2	健康づくり推進室
「聞いて実践！わたしの健康、わたしのキレイ」 開催日：3月1日（火）、3月8日（火） 2回 定員：各15人（2回とも参加できる方を優先） 参加人数 ①13人（女性12人 男性1人） ②14人（女性13人 男性1人） （再掲Ⅲ-11-28-91）	1	3	1	1	1	今後も引き続き、健康保持に関する講座の実施に取り組む。	2	人権・男女参画室
学習指導要領に基づき、児童生徒の発達段階に応じ、保健や総合的な学習の時間等でリプロダクティブヘルス／ライツの考え方に基づいた健康保持に関する学習機会を提供するよう指示した。	1	3	1	2	2	リプロダクティブヘルス／ライツの考え方について、教職員への研修を進めていく。	2	教育委員会指導室

No	事業							
93	年代に応じた健康管理を支援するため、健康相談や健康診査・検診等の充実を図ります。 ◆各種検診（健診）、健康教育・相談事業							

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映し出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
各種がん検診、肝炎ウイルス検診、胃がんリスク検査、歯周疾患検診の実施及び胃がんリスク検査への費用補助を実施。 また、受診人数の向上を図るため、無料クーポン券の発行や対象者及び未受診者への個別勧奨通知を実施した。 健康教育・相談事業については、市民が生活の中で健康づくりを実践できるよう、生活習慣病予防のための教育や保健指導を実施した。 乳がん検診 対象者数 23,298人 受診者数 6,014人 子宮がん検診 対象者数 22,901人 受診者数 6,377人	2	3	1	1	1	個別勧奨等の実施により乳がん検診の受診率において目標を達成することができた。今後も各種検診の充実を図るとともに、乳がん検診の自己負担額の軽減や対象者への受診意向を把握し効果的な媒体の配付や個別勧奨通知等、受診率向上をめざす。また、地域に出向いた健康教育や普及啓発を継続し、関心の低い人へも幅広く働きかけられるよう努めていく。	2	健康づくり推進室

No	事業
94	<p>学校と連携し、健康をおびやかす問題についての対策を推進します。</p> <p>◆「薬物乱用防止教室」の実施</p> <p>◆各校で学校保健委員会の開催</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り進むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
<p>各学校は、薬剤師会や警察等と連携し、「薬物乱用防止教室」を開催した。うち、薬剤師会による実施は、南松尾小学校 5年 15人 5月27日(水)、青葉はつが野小学校 5年 185人 6月24日(水)、郷荘中学校 2年 229人 7月2日(木)、信太小学校 6年 82人 9月9日(水)、北池田中学校 2年 300人 9月16日(水)、緑ヶ丘小学校 6年 116人 10月7日(水)、池上小学校 5年 33人 10月8日(木)、信太中学校 2年 225人 10月14日(水)、伯太小学校 6年 83人 10月28日(水)、国府小学校 6年 163人 11月11日(水)、和泉中学校 1年 330人 11月18日(水)、芦部小学校 5年 97人 12月1日(火)、南池田小学校 6年 69人 12月9日(水)、和気小学校 6年 131人 1月13日(水)、光明台北小学校 6年 134人 1月14日(木)、南横山小学校 5・6年 29人 1月15日(金)、北松尾小学校 6年 158人 2月19日(金)</p> <p>合計 17校(回) 2,379名</p> <p>残りの14校については、警察、保護司、養護教諭等による「薬物乱用防止教室」を実施した。</p>	1	3	3	1	1	今後も学校保健計画に位置づけ、小中学校児童生徒に対し、計画的に実施する。	2	教育委員会指導室
<p>各校で年に一回以上学校保健委員会を開催した。生涯を通じた心身の健康保持・増進につながるよう各学校でテーマを設定して開催した。</p>	1	3	3	1	1	各学校の課題に沿った内容で実技や講演会を実施している。また保護者に多く参加してもらうために日時や内容等を考慮し、広く周知している。	2	教育委員会指導室

No	事業
95	<p>性差に留意し、自殺予防のための相談支援や心の健康保持増進に努めます。</p> <p>◆自殺予防対策事業</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り進むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
<p>・庁内ネットワークづくりや市職員の自殺予防の意識向上を目的に、和泉市自殺予防対策連絡会議を3回実施。また、職員研修の実施(ゲートキーパー研修1回16名、メンタルヘルス研修4回356名の参加があった)。</p> <p>・9月、3月の自殺予防週間・月間での街頭キャンペーンやポスター掲示、広報などで啓発する。</p> <p>・「こころの体温計」を活用した普及啓発</p> <p>・9月、3月に相談事業を6日実施し、11名の相談を受ける</p> <p>・メンタルヘルス研修を1回実施し、32名が参加</p> <p>・ゲートキーパー養成等、人材育成研修を10回実施し、226名が参加</p>	1	3	1	1	1	今後も、男女共同参画の視点をもって、事業運営していく。	2	健康づくり推進室

No	事業
96	<p>妊娠、出産期における健康保持のための支援をします。</p> <p>◆両親教室(妊婦教室)</p> <p>◆妊婦健康診査</p> <p>◆母子健康相談事業</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映しただけで取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
 - (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 - (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 - (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
保健師、助産師より妊娠・出産・育児に関する正しい知識や手技等について講話や演習を行う。また個別に応じ相談を実施した。 受講者数 延240人(夫受講者 延17人)	2	3	1	1	1	相談しやすい雰囲気作りを行い、対象者のニーズに合わせて相談を実施していく。	2	健康づくり推進室
健全な妊娠・出産を迎える上で、妊婦の経済的負担を軽減するために、妊娠届時に「妊婦健康診査受診券」を発行し、1人当たり合計90,000円の公費負担を行った。	1	3	1	1	1	平成28年4月1日より公費負担額を増額(合計120,000円)し、妊婦の経済的負担軽減を推進する。	1	健康づくり推進室
安心・安全な妊娠・出産・子育て期を過ごせるよう、面接・電話・訪問による相談・支援を行った。 母子保健指導 平成27年度 12,496人	2	3	1	1	1	安心・安全な妊娠・出産・子育て期を過ごせるよう、今後も支援を継続する。	2	健康づくり推進室

No	事業
97	<p>HIV／エイズや性感染症については、大阪府と連携し偏見を取り除き、正しい知識の普及や感染予防に努めます。</p> <p>◆HIV／エイズ等のポスター掲示等による普及活動</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映しただけで取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
 - (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 - (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 - (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
HIV予防週間は、ポスターを掲示し普及啓発を行った。	2	3	1	1	1	引続き大阪府と連携し正しい知識の普及に努める。	2	健康づくり推進室

No	事業
98	<p>個人のプライバシーに配慮した女性のための健康に関する相談窓口を充実します。</p> <p>◆健康相談事業</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映しただけで取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
 - (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 - (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 - (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
骨密度検診、特定健診結果説明会で面接を実施。 機能訓練教室やヘルシー運動教室にて、面接を実施。 電話や来所での相談に対し、健康相談を実施。	2	3	1	1	1	教室や健診の対象者に対し、相談を実施できた。また、市民からの相談に対し、健康相談を実施できた。引き続き、実施していく。	2	健康づくり推進室

基本目標Ⅳ 人権が尊重される環境をつくる 施策の方向 12 あらゆる暴力の根絶

施策② 暴力を容認しない社会風土の醸成

No	事業
99	<p>「女性に対する暴力をなくす運動」を展開し、暴力を容認しない社会風土を醸成するための啓発や講演会等を行います。</p> <p>◆キャンペーンの実施</p> <p>◆男女共同参画社会づくり講座の実施</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り進むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
<p>・女性に対する暴力をなくす運動期間等を記載した啓発用マグネットシートを作成し、公用車に貼り付け啓発を行った。</p> <p>・パープルリボンを作成し、市長をはじめ、職員に配布し、全庁的に女性に対する暴力をなくす運動啓発を行うとともに、全庁向け啓発紙「オアシスIZUMI」にてDVについての啓発を行った。</p> <p>また、正面玄関受付にて、パープルリボンの由来及び運動期間の啓発とともに、市民配布用パープルリボンの設置を行った。</p>	1	1	1	1	1	今後女性に対する暴力をなくす運動について周知を図り、暴力を許さない社会風土の醸成を行う。	2	人権・男女参画室
<p>フェミニストカウンセラーとして豊富な経験を持つ講師に、自分自身や家族や友人がその暴力に気づき、乗り越えるために何ができるかを学び、考える機会とするため講演会を実施した。</p> <p>開催日：11月19日(木)10:00～12:00</p> <p>内容：「カウンセラーが語るモラル・ハラスメント～暴力を見過ごさないために～」</p> <p>参加人数：21人(女性19人・男性2人)/30人定員</p>	1	3	1	1	1	参加率は70%であり、目標値には届かないが、広く参加を呼び掛けた結果が表れたと考える。今後も、広報いずみやいずみメール、チラシ、男女共同参画センターの機関誌などを活用し、市民への周知を図り、参加を呼び掛け目標値をめざす。	2	人権・男女参画室

No	事業
100	<p>「男女共同参画週間」「人権週間」等を通じて、広く意識啓発のための活動を行います。</p> <p>◆男女共同参画週間事業の実施</p> <p>◆「いのち・愛・人権」市民の集い、人権啓発講座、他</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り進むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
<p>① 広く市民に男女共同参画に対する理解を深め、その取り組みの輪を広げるために男女共同参画週間啓発事業として、ミニフォーラムを実施。</p> <p>(平成27年度男女共同参画週間事業)</p> <p>開催日：6月20日(土)14:00～16:00</p> <p>内容：男女共同参画で四角じゃない丸い世の中</p> <p>参加人数：154人/200人定員</p> <p>② 平成27年6月号広報いずみに男女共同参画週間事業を掲載。また啓発用マグネットシートを公用車に貼り付け、市民に向けて啓発を行った。</p>	1	3	1	1	1	ミニフォーラムの参加率は77%であり、目標値には届かないが、広く参加を呼び掛けた結果が表れたと考える。今後も、広報いずみやいずみメール、チラシ、男女共同参画センターの機関誌などを活用し、市民への周知を図り、参加を呼び掛け目標値をめざす。	2	人権・男女参画室
<p>「いのち・愛・人権」市民の集いの参加者に人権週間のリーフレットを配付し、女性の人権などの人権課題について啓発を行った。</p>	3	3	3	1	1	引き続き、事業の周知を図り、参加者増に努める。	2	人権・男女参画室

No	事業
101	<p>子ども・若者・成人と、年齢に応じて暴力によらない解決方法を身につけるための学習機会を提供します。</p> <p>◆男女共同参画社会づくり講座の実施 ◆暴力によらない解決ブックレットの活用 ◆スクールカウンセラーの効果的な活用による生徒指導 ◆保育所や幼稚園での集会や日常の保育、教育の場で保育(教育)計画に基づいた指導</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
<p>フェミニストカウンセラーとして豊富な経験を持つ講師に、自分自身や家族や友人がその暴力に気づき、乗り越えるために何が出来るかを学び、考える機会とするため講演会を実施した。(IV-12-29-99再掲)</p> <p>開催日：11月19日(木) 10:00～12:00 内容：「カウンセラーが語るモラル・ハラスメント～暴力を見過ごさないために～」 参加人数：21人(女性19人・男性2人)/30人定員</p>	1	3	1	1	1	参加率は70%であり、目標値には届かないが、広く参加を呼び掛けた結果が表れたと考える。今後も、広報いずみやいずみメール、チラシ、男女共同参画センターの機関誌などを活用し、市民への周知を図り、参加を呼び掛け目標値をめざす。	2	人権・男女参画室
<p>暴力によらない解決ブックレットを活用し、問題解決力育成ワークにある、子どもと良い関係を作るワークや心を落ち着かせるワーク、表現力を育てるワークを実施するように指示した。これらに取り組むことで、子ども自身が自己の思いや考えを表現する喜びや嬉しさを知り、さらにその気持ちを相手に伝えることができるまでの行動過程を体感することで子ども自身がエンパワメントされ自己肯定感の確立につながった。</p>	1	2	1	1	1	今後もアンガーマネジメントなどの暴力によらない解決方法の学習の機会を充実する。	2	教育委員会指導室
<p>スクールカウンセラーの効果的な活用を指示し取り組んだ。スクールカウンセラーは、13小学校に配置し、中学校は全10校に配置している。小学校での相談件数は、1,210件、相談人数1,532人。中学校での相談人数は3,572人であった。また、9校(8中学校、1小学校)において、SCが講師となり、子ども理解や暴力によらない解決方法の育成についての教職員研修を行った。</p>	1	2	3	1	1	スクールカウンセラー連絡会を実施し、さらなる相談体制の充実を図った。	2	教育委員会指導室
<p>・保育の中で、子どもたちのけんかの場面などをとらえ、人を傷つけることは良くないことであることを、子ども自身がきついでいけるような話し合いの場をもった。 (叩く、蹴るの行動をとった子どもの気持ちは理解しながらも、その行動は良くないことを伝え、他にどのようにすればよかったかを考えさせるようにし、自分で考えたことを言う等) ・各年齢の中で、一人一人の子どもを大切に保育を年間を通して実施した。</p>	2	3	1	1	1	今後も、人権の視点をしっかりともち取り組みを進める。	2	子ども未来室

施策③ 性犯罪等の防止対策及び暴力に対応する相談窓口や支援機関の周知

No	事業
102	<p>様々な媒体を活用して、それぞれの暴力に適応した相談窓口について広く周知します。</p> <p>◆暴力等DVの相談業務 ◆高齢者権利擁護推進事業 ◆相談窓口の周知</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
<p>暴力等DVについては、母子・父子自立相談による相談を実施 DV相談 41件</p>	2	3	1	1	1	(成果)被害者に寄り添いながら相談業務を行い、支援機関の周知を図れた。	2	子ども未来室

<p>市民、介護保険事業所、病院に対して、高齢者虐待の定義・類型・対応等についての研修会を行った。</p> <p>開催日：平成27年5月25日(月)17:30～18:30 場 所：横山病院 対象者：看護師、ケアマネジャー等</p> <p>開催日：平成28年2月18日(金)13:30～15:00 場 所：和泉中央病院 対象者：相談員、ケアマネジャー等</p> <p>開催日：平成28年2月24日(水)10:00～12:00 場 所：和泉市コミュニティセンター 対象者：市民</p>	2	2	2	2	2	<p>早い段階での虐待通報が増加しているの で、介護保険サービ スの導入で対応して いるケースが多くな り、分離をする事案 が減少してきている。 しかし、高齢者が増 加する中で介護負担 や認知症等による相 談が増加してくるた め、相談機能の充実 が求められる。</p>	2	高齢介護室
<p>・広報いずみ、モアいずみ通信に相談窓口の掲載。 ・リーフレットを公共施設の女子トイレに設置、補充管理。(和泉市立病院、 人権文化センター、北部及び南部リージョンセンター等) ・連携する関係各課(室)の相談窓口にはリーフレットを設置、補充管理。</p>	1	3	1	1	2	<p>引き続き、相談窓口 や支援機関の周知に 努める。</p>	2	人権・男女参 画室

No	事業
103	<p>ウーマンライン、性暴力救援センター・大阪(SACHICO)等の性犯罪専門の相談窓口を周知します。 ◆相談窓口の周知</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・表裏 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
<p>・リーフレットを公共施設の女子トイレに設置、補充管理。(和泉市立病院、 人権文化センター、北部及び南部リージョンセンター等) ・連携する関係各課(室)の相談窓口にはリーフレットを設置、補充管理。</p>	1	3	(1) (2) (3)	<p>引き続き、相談窓口 や支援機関の周知に 努める。</p>	2	人権・男女参 画室

No	事業
104	<p>性犯罪等女性や子どもへの暴力防止のため、関係団体と連携を図り犯罪防止の啓発活動、地域の安全情報の提供を推進します。 ◆地域防犯対策事業</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・表裏 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
<p>・ ひったくり防止カバーの無料取付けキャンペーン、性犯罪に遭いやすい女性を対象とした防止ブザーの無料配布、特殊詐欺防止声掛け運動など各種防犯活動を実施した。</p> <p>・ 青色防犯パトロールカーを使用して、通勤・通学の時間帯や登下校時において見守り活動を実施した。</p> <p>・ 和泉総合防犯センター(ICPC)メールによる犯罪情報の発信と、各種犯罪被害を認知した場合には警察署へ通報を実施した。</p>	1	1	(1) (2) (3)	<p>ひったくり、強盗と いった街頭犯罪は前 年比3割以上の減少 が見られたが、女性・ 子どもを狙った犯罪 は増加傾向にあるこ とから、各種団体と発 生時間帯・場所等の 情報を共有して被害 の未然防止活動を推 進する。</p>	2	公民協働推 進室

No	事業
105	<p>セクシュアル・ハラスメント、性犯罪やストーカー行為等、女性に対する暴力防止のため、学校を含む関係機関・関係団体との連携を基に、女性の人権侵害に関する市民の意識の向上と安全・安心のまちづくりの重要性を啓発します。</p> <p>◆地域防犯対策事業 ◆スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用、関係機関との連携 ◆特別相談の実施</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
<p>・ひったくり防止カバー取り付けキャンペーンの実施 4月28日市役所前、10月9日鶴山台デイリーカーナート前で実施した他、月1回商業施設において実施した。</p> <p>・性被害防止を目的とした防犯ブザーの無料配布 10月16日和泉府中駅コンコースにて実施した。</p> <p>・性被害等の犯罪に遭わない環境づくりのため、街頭防犯カメラの設置を推進 公設置、自治会への設置補助事業により63台の防犯カメラを新たに設置した。</p>	2	1	1	1	1	女性・子どもを狙った犯罪は増加傾向にあることから、引き続き、強制わいせつ・痴漢被害防止の啓発活動に取り組む。また各種犯罪の未然防止を図るために街頭防犯カメラの設置を積極的に推進する。	2	公民協働推進室
<p>防犯教室開催時には、大阪府警察本部、和泉警察署等の協力を得て、最近の性犯罪発生状況について説明し、被害防止方策と万一被害に遭った場合の措置要領についてわかりやすく教示した。</p>	2	2	1	1	2	被害者支援団体との連携を強化して、性犯罪の被害が潜在化しないような防犯教室を展開していく。	2	公民協働推進室
<p>和泉市配偶者からの暴力対策連絡会議への参加を行い、関係各課や関係機関と連携するとともに、スクールカウンセラー、SSWの効果的な活用及び子ども未来室や子ども家庭センターと連携し重要性を啓発した。スクールカウンセラーは、13小学校に配置し、中学校は全10校に配置した。小学校での相談件数は、1,210件、相談人数1,532人。中学校での相談人数は3,572人であった。スクールソーシャルワーカーは、2名で、要請のあった件について、相談に応じ、支援を行った。</p>	1	2	3	1	1	さらにSCやSSWの相談体制を充実し、関係機関との連携を図る。	1	教育委員会指導室
<p>女性に対する暴力をなくす運動啓発事業 【特別相談】 実施日：①9月30日(水)午前・午後 ②10月29日(木)夜間 ・電話相談 ①午前3人・午後4人 ②夜間2人</p> <p>実施日：11月28日(土) ・法律相談 2人 ・カウンセリング 2人</p>	1	3	1	1	1	女性に対する暴力をなくす運動を啓発するとともに、引き続き、特別相談の実施に取り組む。	2	人権・男女参画室

施策⑩ セクシュアル・ハラスメント等防止対策の推進

No	事業
106	<p>セクシュアル・ハラスメント等の相談窓口の周知を図ります。</p> <p>◆労働相談の周知 ◆女性の相談窓口の周知 ◆セクハラ防止対策相談窓口の周知</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
<p>広報いずみやホームページ等を用い周知を図るとともに、就労支援相談を実施するなかでセクシュアル・ハラスメント等の問題を抱えている者に対して、労働相談を案内した。</p>	2	3	1	1	1	今後も広報いずみやホームページ等で周知を図るとともに、twitter、facebook等での周知を検討していく必要がある。	2	商工労働室

<p>・職場におけるセクシャル・ハラスメント相談窓口を掲載した「女性の相談窓口」リーフレットを公共施設の女子トイレに設置、補充管理</p> <p>・平成28年4月号広報にて全戸配布を行った男女共同参画啓発冊子「CHANGE」にセクシャル・ハラスメント相談窓口を掲載し、相談窓口の周知を図った。</p>	1	3	1	1	2	引き続き、相談窓口の周知に努める。	2	人権・男女参画室
<p>大阪労働局の「セクシュアルハラスメントによる労災請求の相談窓口」の周知など、職員への情報提供を行うとともに、常に参照できるように市グループウェアに掲載した。</p>	2	2	1	1	1	相談窓口の周知、市グループウェアに掲載を行ったことで、職員に対して十分な周知を図ることができた。	2	人事課

No	事業
107	<p>事業主に対して、セクシュアル・ハラスメント等を防止するために講じなければならない措置を周知します。</p> <p>◆和泉市企業人権協議会等を通じた周知</p> <p>◆セクシュアル・ハラスメント等を防止するための情報提供</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
<p>和泉市企業人権協議会が実施する事業等で、セクシュアル・ハラスメント等を防止するための周知を図るとともに、就労支援相談を実施するなかでセクシュアル・ハラスメント等の問題を抱えた者に対して、本市が実施する労働相談や各関係機関を案内した。</p>	2	3	2	1	1	セクシュアル・ハラスメント等の防止を周知していくことは勿論のこと、セクシュアル・ハラスメント等に対する認識についても再度周知していく必要がある。	1	商工労働室
<p>セクシュアル・ハラスメント等を防止するため、商工労働室と双方から情報を発信した。</p> <p>平成27年度男女共同参画推進事業者等事業助成制度では、広報いずみ、ホームページ、各市内公共施設にチラシ設置等で広く周知を行い、セクシュアル・ハラスメント研修実施に係る申請が1件あった。</p>	1	3	2	1	1	引き続き、セクシュアル・ハラスメント等を防止するための情報提供を行う。	2	人権・男女参画室

No	事業
108	<p>市職員や教員に対し、事案をなくすために研修等を実施します。また、市役所や学校におけるセクシュアル・ハラスメント等に対応するための体制を充実します。</p> <p>◆各校にセクシャル・ハラスメント対策担当者を設置 ◆セクハラ防止研修</p> <p>◆研修等への参加促進 ◆職員研修への参加促進</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
<p>各校において、複数名の担当者を置き、1名は必ず女性が担当している。平成27年度の相談件数は、0件だった。</p>	1	1	1	1	1	今後も複数の担当者を置き、1名は女性が担当するように指示する。指導室内の担当については、女性を置くことができていない。	2	教育委員会指導室

<p>セクハラへの正確な理解やモラル観を持ち、快適な職場環境の形成を図るため、啓発を実施した。</p> <p>実施日：平成28年2月9日（火） 研修内容：ハラスメント防止研修 参加人数：63名【内訳】男性：47名 女性16名</p>	2	2	1	1	1	<p>課内マネジメントを行う係長級以上の職員を対象に1～2名の参加者を募集し、実施したことにより、施策の推進に寄与した。</p>	2	人事課
<p>部内ファイルサーバーに、セクハラ、パワハラに関する資料を掲載し、全消防職員に理解を深めてもらい、アンケート調査を実施した。平成28年3月末現在 153名中、153名実施(男151名 女2名)</p>	2	1	1	1	1	<p>各個人が資料に基づき自らハラスメントについて学び、それについてのアンケートを実施できたことは効果的だった。</p>	2	消防総務課
<p>①H28年2月9日開催のハラスメント研修に職員が参加し、研修内容を後日所属職員へ周知を行った。 ②近畿地区女性職員キャリアアップ研修に参加し、「女性と仕事」というテーマで女性が働きやすい職場環境づくりについて学ぶとともに、国、府、他市町村の職場環境について、女性の視点から見た現状について情報交換を行い、各団体がかかえる課題を理解することができた。</p>	2	3	3	1	1	<p>年々ハラスメントが多様なものになる中で、ハラスメントの実態や、どういものがハラスメントにあたるのかの最新事情を理解できた。</p>	2	上下水道部 経営総務課

施策の方向 13 安心して相談できる相談体制の充実

施策② 相談・支援体制の充実

No	事業
109	<p>庁内の関係担当課及び関係機関が連携し、相談内容によつて的確な窓口を紹介できるようにします。</p> <p>◆関係担当課や関係機関との情報共有 ◆生活保護等事業 ◆高齢者権利擁護推進事業 ◆基幹相談支援センター事業及び委託相談支援事業の実施 ◆市民相談事業 ◆いずみ子育てなんでも相談センター ◆教育センター相談事業 ◆青少年相談業務 ◆和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議 ◆人権相談 ◆総合生活相談事業</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映し出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
<p>的確な窓口の紹介を迅速に行えるよう、関係担当課や関係機関の担当業務を事前に知っておくことで、的確な窓口を紹介することが出来た。</p>	2	3	2	2	2	<p>関係担当課や関係機関と更なる情報共有を行い、より迅速・丁寧な対応していく必要がある。</p>	1	商工労働室
<p>庁内の関係担当課及び関係機関が連携し、相談内容によつて的確な窓口を紹介することができた。 生活保護等の相談については男女共同参画の視点や生活困窮者の人権を尊重し社会保障制度の充実につながる相談を行うことができた。 ※生活福祉課での面接相談件数は最近では平成24年度が766件、平成25年度が539件、平成26年度が852件、平成27年度が699件となっている。</p>	1	1	1	1	1	<p>福祉総務課をはじめとする庁内の関係担当課及び関係機関との連携が重要となる。</p>	2	生活福祉課

<p>高齢者虐待防止ネットワーク会議及び実務者会議を開催し、関係公的機関、民間団体との連携の促進を図った。事例を元に関係機関の相談体制について、意見交換を行った。</p> <p>会議名：高齢者虐待防止実務者会議 日 時：平成27年8月13日(木)13:30～15:30 場 所：和泉市役所</p> <p>会議名：高齢者虐待防止ネットワーク会議 日 時：平成28年2月26日(金)10:00～12:00 場 所：和泉市コミュニティセンター</p>	2	2	2	2	2	<p>各関係機関と連携し、高齢者虐待対応を行うことができた。しかし、高齢者虐待は高齢者だけの問題ではなく、養護者の精神疾患などのさまざまな要因があり、関係機関の役割を明確にし、それぞれの特性に応じた対応が必要となる。</p>	2	高齢介護室
<p>基幹相談支援センター及び障がい者相談支援センター(委託相談支援事業所のことで市内3か所、「杏」「タイム」「ピオラ和泉」)の合計4か所で専門の相談員が障がいのある方やその家族等からの相談に応じ、必要な支援を行っています。基幹は平成26年度から、委託は平成27年度からそれぞれ委託開始し、関係機関や利用者等への認知度を高める必要があるため、各種会議等を通じて関係機関に周知、また、ホームページや広報紙、ガイドブック、出前講座などで広く基幹相談支援センター事業及び委託相談支援事業の周知を図りました。</p>	2	2	3	1	1	<p>今後は基幹相談支援センター及び委託相談支援センターが、庁内各課をはじめとした関係機関との連携がスムーズに行えるよう、ケースを通じて協力しあえる関係づくりをめざす。</p>	1	障がい福祉課
<p>市民からの生活上の相談を聞き、その困りごとに応じて必要な部署(制度)の紹介やつなぎを行った。また、必要に応じてくらしサポートセンターで実施している生活困窮者自立支援や法律相談などの専門相談につなげた。</p>	1	1	3	1	1	<p>生活困窮者自立支援と一体的に実施することで、総合相談窓口としての機能を効果的に実行することができた。</p>	2	福祉総務課
<p>いずみ子育てなんでも相談センターに家庭児童相談員(4人：男1人、女3人)を配置し、乳幼児から18歳までの子育てや家庭内の問題(育児や学校に関する悩み、児童虐待等)について相談に応じました。相談内容によって、的確な窓口を紹介しました。 平成27年度 相談件数合計548件</p>	2	3	3	1	1	<p>今後も継続して事業に取り組んでいく。</p>	2	こども未来室
<p>各小中学校に市および府などの相談窓口を周知した ・各長期休業の前に休み中の過ごし方についてのプリント(相談窓口の一覧を掲載したもの)を配付 ・大阪府教育委員会や教育センターの相談窓口(すこやかホットライン・チャイルドラインなど)の紹介用のプリントやカードを配付</p>	1	3	3	2	2	<p>引き続き相談窓口の周知に努め、的確な窓口を紹介できるようにしていきたい。</p>	2	教育委員会指導室
<p>青少年の健全な育成と自立支援につなげる相談、また、ノートやひきこもりなど、青少年問題に関する様々な相談全般を受け、その内容に沿った専門的な機関を紹介する。平成27年度は1件の相談があったため、適切な関係機関を紹介した。</p>	2	3	1	1	1	<p>青少年の健全な育成と自立支援につながるよう、その内容に沿った専門機関を紹介する。専門職員の配置も視野に入れながら、相談業務の充実を図りたい。</p>	2	青少年センター
<p>和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議を通して、関係担当課及び関係機関との連携を強化を行った。 平成27年度和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議 平成28年2月16日開催 (内容) ①和泉市等の現状について ②和泉市関係各課のDV被害者支援の現状について ③個人情報漏洩防止に関するマニュアルについて ④大阪府のDV被害者支援の取組について</p>	1	1	1	1	1	<p>関係担当課及び関係機関との連携を強化し、DV被害者支援を行う。</p>	2	人権・男女参画室
<p>人権擁護委員による人権相談を24回実施。 内容に応じ、庁内関係課や(公財)大阪府国際交流財団などの関係機関を紹介した。</p>	2	3	3	1	1	<p>引き続き相談窓口の周知を図り、実施する。</p>	2	人権・男女参画室
<p>人権、進路選択、労働、生活等に関するさまざまな相談を受け、相談内容によって関係各課関係機関と連携し、課題解決に向けて取り組む。平成27年度の相談実績は92件述べ180件となっている。</p>	1	3	1	1	1	<p>引き続き相談窓口の周知を図り、実施する。</p>	2	人権・男女参画室

No	事業
110	<p>在住外国人のための、仕事や生活等に関する相談窓口の整備や外国語による支援体制を充実します。</p> <p>◆外国人への相談事業 ◆総合生活相談事業 ◆女性問題総合相談事業の実施</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
<p>(公財)大阪府国際交流財団との共催で、多言語で対応する「外国人のための1日相談サービス」を実施。また、(公財)大阪府国際交流財団の大阪府外国人情報コーナー等の相談窓口についてホームページで周知を行った。</p> <p>外国人のための1日相談サービス 平成27年6月7日(日)午前11時～午後3時 相談 7件(男性 2件 女性 5件)</p>	2	1	3	3	1	引き続き相談窓口の周知を図り、実施する。	2	人権・男女参画室
<p>人権、進路選択、労働、生活等に関するさまざまな相談を受け、相談内容によって関係各課関係機関と連携し、課題解決に向けて取り組む。平成27年度の相談実績は92件述べ180件となっている。(再掲IV-13-32-109)</p>	1	3	1	1	1	引き続き相談窓口の周知を図り、実施する。	2	人権・男女参画室
<p>外国人の相談窓口について、本市の配偶者等からの暴力マニュアルに(財)大阪府国際交流財団が実施する「外国人のための相談窓口」を記載し、庁内に向け情報提供を行うことにより、支援体制の充実を図った。</p>	1	2	2	1	2	引き続き、支援体制の充実を図る。	2	人権・男女参画室

施策⑭ 相談員の研修の充実

No	事業
111	<p>相談に携わる職員等に対し、セクシュアル・ハラスメント等に関する関連法令や情報提供、対人援助技術の習得や関係機関の交流等、資質の向上のための研修を実施します。</p> <p>◆保護者支援のための研修の充実 ◆高齢者権利擁護推進事業 ◆研修の実施</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
<p>保護者支援についての学ぶことができる研修を実施できた。</p> <p>・保護者への支援について…松久 眞実氏 4月24日(金)39人 ・2次障がいや虐待との関連について…松久 眞実氏 9月11日(金) 32人 ・保護者支援のポイントを学ぶ…津村 薫氏 12月16日(水) 37人 ・ハラスメントについて…辻 由起子氏 1月6日(水) 1部2部合計 45人(内1名男性管理職)</p>	2	2	1	1	1	今後も職員の質の向上につながる研修を実施する。	2	こども未来室

介護保険事業所や病院に対して、高齢者虐待の定義・類型・対応等についての研修会を行った。 開催日：平成27年5月25日(月)17:30～18:30 場 所：横山病院 対象者：看護師、ケアマネジャー等 開催日：平成28年2月18日(金)13:30～15:00 場 所：和泉中央病院 対象者：相談員、ケアマネジャー等	2	2	2	2	2	高齢者虐待に関する基本的な知識についての理解もまだまだ薄い現状を理解できた。高齢者虐待の防止に向けて、継続的な取り組みが必要と考えられる。	2	高齢介護室
和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議担当者と、その他、市民窓口対応に携わる職員等対象に、DV防止研修会を開催した。 テーマ：「DV」「デートDV」の理解を深め、窓口対応にいかそう！ 開催日：平成28年1月28日 参加人数：45人	1	1	1	1	1	引き続き、相談に携わる職員の資質向上のための研修会や情報提供を行う。	2	人権・男女参画室
人権擁護委員研修 日時：平成28年3月10日 内容：国立療養所長島愛生園歴史館・園内見学	2	3	3	1	1	多岐にわたる人権課題について理解を深めることができた	2	人権・男女参画室

施策④ 人権侵害の相談・救済の充実

No	事業
112	法律相談、人権擁護委員による相談等、人権侵害等に関する相談窓口の充実に努めます。 ◆法律相談◆人権相談

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった			事業の企画や実施に当たり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
		(1)	(2)	(3)				
弁護士による無料法律相談を実施した。 相談実施日：毎週火・木及び第1・3・4水曜日 実施回数：132回 利用人数：706人(男275人、女431人)	1	1	3	1		アンケートを実施し、満足度が高い結果であった。	2	福祉総務課
人権擁護委員による人権相談を、毎月第1、3月曜日の午後1時30分～午後3時30分に実施。21回 特設相談 ・憲法週間 平成27年5月7日(月) ・人権擁護委員の日 平成27年6月1日(月) ・人権週間 平成27年12月7日(月) 時間はいずれも午前10時～正午	1	3	3	1		引き続き相談窓口の周知を図り、実施する。	2	人権・男女参画室

施策⑤ DV防止対策の推進

No	事業
113	DV防止基本計画に則り、総合的・計画的に推進します。

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった			事業の企画や実施に当たり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
		(1)	(2)	(3)				
DV防止基本計画の事業について、関係各課(室)と連携し、被害者の支援を行った。	1	2	2	1		引き続き、DV防止基本計画を推進する。	2	人権・男女参画室